



世界 400 地区以上の共同プロジェクト

2022-23

パート II

RLI パートⅡ — 私たちのクラブ 目 次

ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) は小グループによるファシリテーション手法によって、ロータリアンを引き込み、ロータリークラブを強化するために開発された多地区リーダーシップ開発およびロータリー開発プログラムです。RLI は RI の推奨プログラムですが、公式なプログラムではありません。

私たちの使命： ロータリー・リーダーシップ研究会は草の根の多地区リーダーシップ開発プログラムです。その使命は、質の高いリーダーシップ研修を通して、ロータリークラブを強くすることにあります。



1. 戦略計画とクラブの分析 (Strategic Planning & Analysis) … 37
洞察に満ちたクラブの戦略計画とその分析を進めていくことで、クラブを強くすることができます。自クラブを良く見ることによって、問題の改善にどのように関わることができるでしょうか。



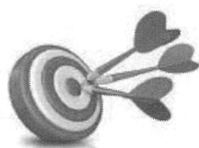
2. 会員を勧誘する (Attracting Membership) …… 53
貴方のクラブの地域における特徴的な位置づけや、貴方のクラブが惹き付ける会員の特性を再評価するよう勧めましょう。会員は、クラブの中の最良の会員と一緒に活動したいと思っています。



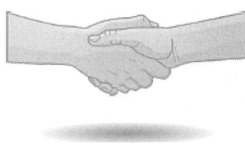
3. チーム作りとクラブコミュニケーション (Team Building & Club Communication) …… 58
クラブ会員や地域の会員候補者に対する効果的なコミュニケーションを促進します。あなたの技能に磨きを掛けてください。私たちの奉仕の目標達成のために、効果的でモチベーションの高いグループに対して私たちのクラブとの協働を促進することができます。



4. ロータリー米山記念奨学事業 …… 64
日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業プログラムです。このセッションでは、奨学制度の基本、及びこの事業の意義を中心に、事業全体の概要を学びます。



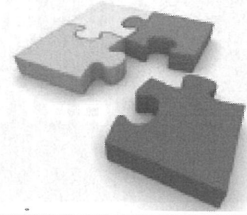
5. ロータリー財団Ⅱ 目標とする奉仕 (Targeted Service) …… 67
ロータリー財団のプログラムを通じて、目標としている、ユニークで意義深い奉仕活動の機会へのクラブ会員の参加を促進することができます。財団のプログラムの重要な概念を理解しましょう。



6. 強いクラブを創る (Building A Strong Club) …… 84
私のロータリーの旅を進めるに従い、私はロータリーの約束を実現することに手を貸すことができます。

1 戦略計画とクラブの分析

洞察に満ちたクラブの戦略計画とその分析を進めていくことで、クラブを強くすることができます。

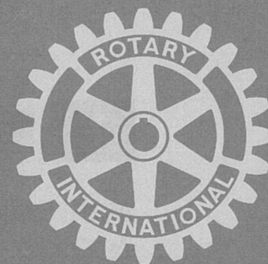


セッションの目標

- あなたのクラブを分析・自己評価する
- 改善すべき分野を再検討する
- なぜ特別な改善が必要なのかを議論する
- クラブ戦略計画立案のプロセスを理解する

セッションの問い

- 1) あなたの地域において、あなたのクラブの強み、弱み、個性、独自性はどのようなものだとお考えですか？（資料 2 : P39）
- 2) あなたのクラブの問題点や課題をお聞かせください。（資料 2 : P39）
- 3) あなたのクラブは、将来像やビジョンをお持ちでしょうか？（資料 2:P39）
- 4) あなたのクラブの戦略計画の効果的な立案プロセスを考えてみましょう。（資料 1 : P38）



資料：戦略計画とクラブの分析①

戦略計画立案ガイド

戦略計画の立案とは、「こういうクラブになりたい」というビジョンを描き、その実現に向けて目標を立てるプロセスです。戦略計画を立てているロータリークラブは、立てていないクラブよりも活発であることが分かっています。また、戦略計画のあるクラブの会員は、クラブとロータリー全体に対する満足度が高いという調査結果が出ています。

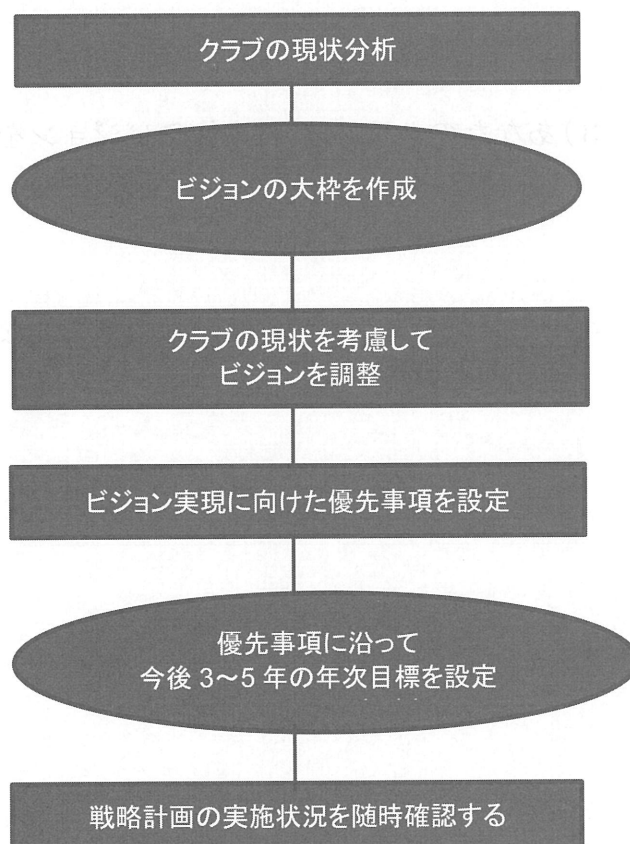
この「戦略計画立案ガイド」は、クラブのビジョンに沿った長期的な優先事項と目標を定めるための資料です。ロータリークラブ向けに作られていますが、地区の戦略計画立案にもご活用いただけます。

戦略計画を立案する際の考慮点：

- セッション1 資料1クラブの元リーダー、現リーダー、次期リーダーから成る戦略計画チームを結成し、計画の立案と実行を監督する。
- 戦略計画立案会議では、偏りなく物事を考えることができる人が進行を担当する。
- 幅広い見解を取り入れるため、できるだけ多様な会員が立案に参加する。
- クラブの目標が地区目標とロータリー戦略計画の目標に沿ったものとなるようにする。

戦略計画立案モデル

戦略計画の立案は、まずクラブのビジョンとその実現に向けた優先事項の設定から始まります。次に、優先事項を達成するための年次目標を定めます。



セッション1 資料2 : 戦略計画立案のワークシート

長所と短所

クラブで何がうまく行っているか（長所）、行っていないか（短所）を挙げてみましょう。

長所



より魅力的な体験ができるクラブとするために、会員満足度調査を実施して、クラブの長所と短所を見つけてみましょう。

短所

地域社会にある機会と課題の特定

地域社会にある機会を挙げ、それをクラブの活動にどう取り入れられるかを考えてみましょう。このプロセスを通じて、これまでに地域社会にはなかった職種やグループを見つけたり、起業や事業の発展を支えるためのメンタリングの機会を見つけることができるでしょう。また、失業率や教育の質など、クラブで取り組める地域社会の課題も挙げましょう。

機会

課題

第2段階: ビジョンの作成 — どのようなクラブになりたいのか?

クラブの特徴

ロータリーのビジョン声明では、「持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する」ことを求めています。このビジョンを実現するために、3～5年以内に実現したいクラブの特徴を5～7つ挙げてみましょう。例：楽しい、奉仕志向、革新的、地域社会の人口を反映している、など。

特徴

ビジョン声明

ビジョン声明とは、未来に実現したいことを定義し、クラブの理想像を目指すための方向性を定めるものです。前項で挙げたクラブの特徴を参照しながら、戦略計画立案チームと一緒に一文のビジョン声明を書いてみましょう。

次のような質問について考えてください。

- クラブは3～5年後にどのようなになっているか。
- クラブの成功はどのようなかたちで現れるか。
- 何を達成したいか

ヒント



ビジョン

声明は、クラブ会員の思いを汲んだ内容とする必要があります。
例：「私たちのビジョンは、地元の若者をサポートする奉仕クラブとして認識されることです」

ビジョン声明

第3段階：計画の作成 — どのようにビジョンを実現できるか？

戦略的優先事項

クラブの戦略的優先事項は、ビジョンの達成を支えるもので、「どのように達成するか」という問いに答えるものです。クラブがビジョンを目指す上で最も大きな成果をもたらせる戦略的優先事項を検討しましょう。

戦略的優先事項を練る際は次のことを考えてください。

- ロータリーのビジョン声明と戦略計画
- クラブの長所と短所
- 地区の目標
- 地域社会にある機会と課題
- クラブ会員の意見
- 3～5年以内に達成できること

戦略的優先事項

--

年次目標

戦略的優先事項を設定したら、それを達成するための年次目標を立てます。

戦略的優先事項を書いたら、そのための年次目標、実行項目、必要なリソース・人材、担当する会員、達成期日を記入してください。目標を設定し、目標達成への進捗を確認するには、ロータリークラブ・セントラル を活用できます。



ヒント

「誰が」
「何を」「いつ」
「どのように」という
点が明確で、測定可能な
目標を立てます。

はじめよう

- 元・現・次期クラブリーダーから成る戦略計画立案チームを編成し、クラブの目標達成を支える計画を立てる。
- ロータリアンではない人やローターアクター、またはリーダーの役割を担っていないクラブ会員に、戦略計画立案会議の進行をしてもらう。
- さまざまな意見を集めるために、多様な経験や専門知識を有するクラブ会員に参加してもらう。
- ロータリーの公式な戦略計画のビジョンを反映させたクラブのビジョンを作成する。
- 地区およびロータリーの戦略計画に沿ったクラブ目標を立てる。

第1段階:現状分析 — クラブの現状はどうか?

クラブの長期的目標を立てる前に、以下を行うことが重要です。

- 会員からの意見を基にクラブの長所と短所を特定する。
- 地域社会のリーダーと会合し、地域社会にある機会と課題を特定する。

戦略的課題の特定

クラブで取り組みたい重要な課題や問題は何ですか。戦略的課題とは、戦略計画の立案を促すものであり、具体的な解決策や決定を必要とするものです。戦略計画においてどのような課題に取り組みたいのかを考えましょう。

会員に次のような質問を尋ねてみましょう。

- 会員を増やし、現会員の積極的な参加を促すために、何ができるでしょうか。
- 多様な人の関心を引きつけるために、何ができるでしょうか。
- 地域社会の多くの人にクラブの活動に参加してもらうために、何ができるでしょうか。

ヒント



方向性を定めるために、これまでのクラブの戦略計画を参考とし、「クラブの健康チェック」を利用して現状を分析するとよいでしょう。

戦略的課題

第4段階：進捗の確認 ― 目標への進み具合はどうか？

進捗の確認

戦略計画立案チームと年次目標への進捗を確認し、必要に応じて行動計画に修正を加えましょう。新しい方法を取り入れたり、より多くのリソースを使用したりすることを検討し、進捗を確認する際は次の問いを検討しましょう。

- どのくらいの頻度で、目標達成に向けた進捗を確認しますか。
- どのように進捗状況をクラブ会員に伝えますか。
- 誰が行動計画や年次目標への変更を承認しますか。

ヒント

目標への進捗を確認するために、[ロータリークラブ・セントラル](#)を活用しましょう。

目標に向けた進捗確認の計画

見直しと調整

進捗を確認する際は、達成されていない目標とその理由を含め、目標の一覧を作りましょう。必要となる調整と、未達成の目標を満たすための実行項目を決定してください。

未達成の目標について検討する際は、次の質問について考えてください。

- 達成された目標は何か。
- 未達成の目標は何か。
- 達成できなかった主な理由は何か。
- 達成するためにどのような調整が必要か。

戦略的優先事項 1: _____

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成期日

戦略的優先事項 2: _____

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成期日

戦略的優先事項 3: _____

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成期日

戦略的優先事項 4: _____

年次目標	実行項目	必要なリソース・人材	担当する会員	達成期日

セッション1 資料3：戦略計画とクラブの分析

(8ページ)

ロータリークラブ 自己評価表

この書式は自己評価を行い、あなたのクラブの現在の実績(成果)と運営を再検討するためのものです。決して、あなたのクラブを『採点』するためのものではありません。むしろ、あなたのクラブの強みを発見し、改善できる余地を確認するメカニズムを提供することです。多くの質問によって、合理的な評価が得られます。質問に対して、四つのテストに従って最適な判断でお答えください。

クラブ管理

スコア

評価：はい—5点 いいえ—0点 わからない—DK

1. 私の所属するクラブはクラブリーダーシッププランを導入している _____
2. 各会員の閲覧が可能な細則がある _____
3. クラブ理事会のメンバーは定期的に会議を開いている _____
4. クラブは短期・長期の活動計画を持っている _____
5. クラブはメールアドレスを持っている又は最新の情報を載せたウェブサイト持っている _____
6. 国際ロータリー公式名簿がある _____
7. 役員・会員・委員会・委員長の名簿がある _____
8. クラブは年度を通じて会員とパートナーの為のイベントを計画している _____
9. 欠席の続いている会員や病気の会員に積極的に連絡を取っている _____
10. 過去3年の間に会長賞を受賞した _____
11. 会員が承認した年間予算がある _____
12. 最低年1回は収入支出に関する報告書を受け取っている _____

評価：優秀—5 良い—4 ほぼ満足—3 中位—2 おそまつ—1 わからない—DK

13. クラブ例会の開催場所や開催地域は _____
14. 例会中に出される食事は _____
15. 通常の例会のスピーカーやプログラムの質は _____
16. 例会は定刻に始まり、定刻に終わり、例会プログラムの使用は _____
17. 理事会はクラブに対し理事会報告をする _____
18. 会員に対する重要なロータリーの情報伝達は _____
19. 会員のクラブ負担金の支払いは _____
20. 地区や国際ロータリーの負担金の支払いは _____
21. クラブニュースレターやクラブ会報の情報とその内容は _____
22. クラブの使用する音響システム、講演台、装飾、旗、バナー、その他ロータリーの備品は _____
23. 定期的な会合や、理事会あるいは会員への報告に関するクラブ委員会システムの運用は _____
24. 地区協議会、地区大会、国際大会や特別な会議についてのクラブのプロモーションは _____

評価：優秀—5 良い—4 ほぼ満足—3 中位—2 おそまつ—1 わからない—DK

- 25. RI テーマや RI 会長のメッセージと強調事項のクラブでの活用は _____
- 26. 来訪ロータリアンに対する挨拶やもてなしは _____
- 27. 例会時のゲスト紹介は _____
- 28. クラブ協議会での情報と話題の質は _____
- 29. 地区ガバナーの公式訪問時のクラブの待遇と歓迎は _____
- 30. ロータリーソングの歌唱は _____
- 31. クラブ内でのロータリー精神や友愛の程度は _____
- 32. 出席表彰などの個人表彰に対するクラブの努力は _____
- 33. 会員は毎週異なるテーブルに座る _____
- 34. 会員の特別なイベントや誕生日に関するクラブの配慮は _____

次の中から当てはまるものを選択してください：

- 35. 私たちのクラブはスピーカーを 毎週(5点)、毎月(3点)、一度もなし(0点) 迎えている _____
- 36. クラブニュースレターは 毎週(5点)、2週間に1回(3点)、毎月(1点)、一度もなし(0点) 発行している _____
- 37. クラブ協議会を 毎月(5点)、年に4回(3点)、年に2回(1点)、一度もなし(0点) 開催している _____
- 38. 国際ロータリーの“出席”に関する規定を 常に(5点)、たいてい(4点)、時折(3点)、たまに(2点)、一度もなし(0点) 守り、実施している _____
- 39. 会員は欠席に対するメイクアップを 常に(5点)、たいてい(4点)、時折(3点)、たまに(2点)、一度もなし(0点) 実施している _____
- 40. クラブは出席率100%の会員に対する表彰を 定期的に(5点)、時折(3点)、たまに(1点)、一度もなし(0点)行っている _____
- 41. 私のクラブは地区ガバナーの候補者を 過去1~5年の間に(5点)、6~10年の間に(4点)、11~15年の間に(3点)、16年以上前(0点)、知らない(DK) 輩出している _____
- 42. 私のクラブはガバナー補佐を 過去1~5年の間に(5点)、6~10年の間に(3点)、一度もなし(0点)、知らない(DK) 輩出している _____
- 43. 前回の国際大会に私のクラブから次の会員が出席した。5名以上(5点)、3~4名(4点)、1~2名(2点)、0名(0点)、知らない(DK) _____
- 44. 前回の地区大会に私のクラブから次の会員が出席した。10名以上(5点)、5~9名(4点)、2~4名(3点)、1名(2点)、0名(0点) _____
- 45. 直近の地区研修・協議会に私のクラブから次の会員が出席した。5名以上(5点)、2~4名(3点)、1名(1点)、0名(0点)、知らない(DK) _____
- 46. 地区の主催する特別なイベント(例；セミナー、奉仕活動)に私のクラブから通常10名以上(5点)、5~9名(3点)、1~4名(1点)、0名(0点) 出席している _____
- 47. 会長エレクトは PETS に いつも(5点)、時々(3点)、たまに(1点)、一度もなし(0点) 出席している _____

※Q1~47までの点数を計算して下さい(各5点)

クラブの管理 _____
DK(わからない) _____

会員

次の中から当てはまるものを選んでください：

1. 例会の月平均出席率は 90-100%(5点)、80-89%(4点)、70-79%(3点)、60-69%(2点)、50-59%(1点)、知らない(DK) _____
2. 会員の平均年齢は 35-40歳(5点)、41-50歳(4点)、51-60歳(3点)、61-70歳(2点)、71歳以上(1点)、知らない(DK) _____
3. 昨年の会員数は 増加した(5点)、同じ(3点)、減少した(0点)、知らない(DK) _____
4. 今年の会員数の見込みは 増加する(5点)、同じ(3点)、減少する(0点)、知らない(DK) _____
5. 新クラブ設立の支援を 過去1~3年以内(5点)、4~8年以内(4点)、9~12年(2点)、知
る限りない(0点)、知らない(DK) 行った _____
6. 会員が他の土地に転勤したときは いつも(5点)、時々(3点)、一度もなし(0点) 転勤先近
くのロータリークラブに知らせている _____
7. 新会員がクラブで活動し易いように いつも(5点)、時々(3点)、一度もなし(0点) 支援し
ている _____
8. クラブは会員候補者を発掘するために しばしば(5点)、時折(4点)、たまに(2点)、一度
もなし(0点) 茶話会や飲み会などの特別な親睦会を行っている _____
9. クラブは いつも(5点)、時々(3点)、たまに(1点)、一度もなし(0点) ロータリーの基金
集めやイベントの際、ロータリーに参加する情報や資料を持っている _____

評価：はい—5点 いいえ—0点 わからない—DK

10. クラブに対して定期的に報告を行う会員増強委員長がいる _____
11. クラブは会員の職業分類制度を利用している _____
12. クラブには会員の関心事項調査の用紙がある _____
13. クラブは新会員の関心のある事項に基づき、委員会への配置を行う _____
14. クラブは達成可能な無理のない会員増強の目標を毎年定めている _____
15. クラブは“メンター”プログラムを利用している(新会員に対して教育役をつけている) _____
16. 新会員用の入門キット(入門資料一式)がある _____
17. 新会員が歓迎されたと感じるクラブ特有のプログラム(レッドバッジ、歓迎会など)
がある _____
18. 新会員のためのオリエンテーション会合を行う _____
19. クラブは新会員が RLI に出席する際、経費を負担する _____
20. クラブは退会する会員に対し“退会時面接”を行って理由を聞いている _____
21. クラブは通常新会員に対し友人などをロータリークラブに紹介してもらうよう依頼し
ている _____
22. 会員でないスピーカーを招き、ロータリーについての情報を提供している _____

評価：優秀—5 良い—4 ほぼ満足—3 中位—2 おそまつ—1 わからない—DK

23. 会員増強に対するクラブのプロモーションは _____
24. クラブの職業分類リストの活用は _____
25. 地域における事業種別と人口に対するクラブ会員のバランスは _____
26. クラブの人種や性別或いは民族を問わず、質のよい会員を加入させる努力は _____
27. 新会員のためのオリエンテーション会議の内容は _____
28. 新会員入会時の入会式の内容は _____
29. クラブの指南役（教育役）プログラムの内容は _____
30. クラブは会員維持のための特別なプログラムを持っている。その内容は _____
31. 地区会員増強セミナーへのクラブの出席は _____
32. すべての会員にむけての RLI 参加への奨励は _____
33. 総合的にクラブの会員増強と退会防止への取り組みは _____

※Q1～33 までの点数を計算して下さい（各 5 点）

クラブ会員 _____

DK(わからない) _____

ロータリー財団について 1～21 まで

評価：はい—5 点 いいえ—0 点 わからない—DK

1. クラブは財団の委員長を有し、会員に定期的に財団活動の報告を行っている _____
2. 毎年、寄付金の目標を設定し達成している _____
3. 各会員にポール・ハリス・フェローになることを奨励している _____
4. 会員のロータリー財団への寄付にクラブがマッチングをする _____
5. 新しくポール・ハリス・フェローになった人のために特別のプレゼンテーションを行っている _____
6. ポール・ハリス・フェロー全員の名簿を配布している _____

当てはまるものに、○をしてください：

7. ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点)の会員は、R 財団に送る寄付金が 3 年後に地区に還元されることを知っている _____
8. ロータリー財団の情報は 毎月(5 点)、3 ヶ月に 1 回(3 点)、半年に 1 回(1 点)、一度もなし(0 点) 報告されている _____
9. すべての(5 点)、ほとんどすべての(4 点)、多くの(3 点)、何人かの(2 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点)の会員はポール・ハリス・フェローのことを知っており、どのようにしてその一員になるのかを知っている _____
10. ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点)の会員は、EREY プログラムに参加し寄付を行っている _____
11. 私のクラブは、過去 1～3 年(5 点)、過去 4～6 年(3 点)、知る限りない(0 点)、知らない(DK) の間に VTT チーム、財団奨学生、又は世界平和フェローの支援を行った _____

12. 私のクラブは来訪 VTT チームを 過去 1～5 年(5 点)、過去 6～8 年(3 点)、知る限りない(0 点)、知らない(DK)の間にホストした _____
13. 私のクラブは国際パートナーと共にグローバル補助金の申請を、過去 1～3 年(5 点)、過去 4～6 年(3 点)、知る限りない(0 点)、知らない(DK) 行った _____
14. 私のクラブは地区補助金の申請を 過去 1 年以内(5 点)、過去 2～3 年(3 点)、知る限りない(0 点)、知らない(DK) 行った _____
15. クラブ会員の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点) は、ポール・ハリス・フェローである _____
16. クラブ会員の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点) は、毎年財団への寄付を継続している _____
17. クラブ会員の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点) は、R 財団の遺贈友の会のメンバーである _____
18. クラブ会員の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点) は、R 財団のベネファクターである _____
19. クラブ会員の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点) は、ポール・ハリス・ソサエティーのメンバーである _____
20. クラブ会員の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点) は、メジャードナーである _____
21. クラブの現 PHF の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点)は、引き続いて R 財団に寄付を行っている _____

※Q1～21 までの点数を計算して下さい (各 5 点)

R 財団 _____
DK(わからない) _____

奉仕プロジェクト

評価：優秀—5 良い—4 ほぼ満足—3 中位—2 おそまつ—1 わからない—DK

1. 職業奉仕を推進するクラブの姿勢は _____
2. クラブと地域における 4 つのテスト (4-Way Test) の推進は _____
3. 地域の学校において学生が職業選択をする場合、これを支援するクラブの職業開発プログラムの活用は _____
4. クラブと地域において、高い倫理基準、専門職の尊厳または奉仕活動の実践を進めるクラブの努力は _____
5. 毎年新しい地域奉仕活動を行っているクラブの努力は _____
6. 毎年新しい国際奉仕活動を行っているクラブの努力は _____
7. 奉仕活動への会員の資金・人材・資源の活用は _____
8. 奉仕活動へのコミュニティーリーダーからの資金・人材・資源の活用は _____
9. 地域や国際的な奉仕活動に対するクラブの活動について _____

10. クラブが過去3年の間に行ったプロジェクトがあった場合、3点を加えて下さい。
 クラブは次の分野のプログラムやプロジェクトを行った。

- 薬物使用の予防とリハビリに関する支援 _____
- ポリオ根絶と地域の免疫に関する活動 _____
- 環境保護活動 _____
- 識字に関するプロジェクト _____
- きれいな水に関するプロジェクト _____
- 飢餓問題に関する支援 _____
- 障害者・高齢者サポートに関する支援 _____
- 地域や世界に対する保健・医療に関する支援 _____
- 地域再建に関する支援 _____
- 貧困地域に関する支援 _____
- 地域社会における経済的、社会的な生活の質の向上 _____
- 職業訓練に関する支援 _____
- 青少年指導育成に関する支援 _____
- ローターアクトあるいはインターアクトの設立と支援 _____
- 通常プロジェクトで他の奉仕団体との共同活動 _____
- 通常プロジェクトで他のRCとの共同活動 _____
- 学力向上に関する支援 _____
- 交通安全や高速道路の安全に関する支援 _____
- 動物保護に関する支援 _____
- 災害援助プログラムやプロジェクト _____
- その他 _____

Q10 合計点 _____

評価：はい—5点 いいえ—0点 わからない—DK

11. 財団の奉仕プログラムを支援するため、クラブは種々の募金活動を行っている _____
12. 財団の奉仕プログラムへの募金は主に会員の寄付に依存している _____
13. クラブは過去2年間に国際奉仕プロジェクトに参加している _____
14. クラブは青少年交換プログラムに参加している _____
15. クラブは青少年交換の学生を例会に招いている _____
16. 通常、会員は来日の青少年交換学生に対してホストペアレントのように振舞っている _____
17. クラブは青少年交換プログラムに義務付けられた『人物経歴調査』を制定し、協力する計画がある _____
18. クラブは優秀な学生又はリーダー的な学生を顕彰している _____
19. クラブは毎年少なくとも1つのグローバル補助金プロジェクトを支援している _____
20. クラブは国連本部で行われる Rotary UN (国連) day に参加している _____

21. クラブは過去3年の間、ロータリー友情交換に参加している _____
22. クラブは過去3年の間に、世界で1つ以上のロータリークラブとのツイン都市クラブプロジェクト、姉妹クラブ（又はマッチドクラブ）プロジェクトなどに参加した _____

23. クラブは過去3年の間に、RYLAに学生を派遣した _____

※Q1～23までの点数を計算して下さい（各5点）

奉仕活動 _____

DK(わからない) _____

ロータリーの広告と広報

1. クラブは地元メディアに対し、いつも(5点)、時々(3点)、たまに(1点)、一度もなし(0点) ロータリー活動の記事や写真などを提供している _____
2. クラブは いつも(5点)、時々(3点)、たまに(1点)、一度もなし(0点) ロータリー活動を広報するため公共のメディアを利用している _____
3. 会員は いつも(5点)、時々(3点)、たまに(1点)、一度もなし(0点) ロータリーピンを着用している _____
4. クラブは例会の日時や場所を書いた 多くの(5点)、いくつかの(3点)、1つの(1点)、なし(0点) 看板を設置している _____
5. 他の組織に資金提供をする際、相手に いつも(5点)、時々(3点)、たまに(1点)、一度もなし(0点) 地元メディアに寄付を公表するよう要請している _____

評価：はい—5点 いいえ—0点 わからない—DK

6. クラブは例会場に“ロータリー例会場はこちら”という看板を置いている _____
7. クラブは過去2年の間に看板・新聞・地域パンフレットなどを利用し、広報活動を行っている _____
8. 昨年、会員は地元のラジオやテレビの取材を受けたことがある _____
9. クラブにはメディアの職業分類をもつ会員がいる _____
10. クラブは、広報用のクラブの紹介とその活動を記載した小冊子がある _____
11. 地域奉仕プロジェクトが完了した際、ロータリーロゴとクラブ名がわかるものを設置している _____

※Q1～11までの点数を加算して下さい（各5点）

ロータリーの広報 _____

DK(わからない) _____

ボーナス質問 (1～6まで評価：はい—5点 いいえ—0点)

1. 私は毎月ロータリー地域雑誌（ロータリーの友）を購読している _____
2. 私はガバナー月信を受け取りこれを読んでいる _____
3. 私は過去2年の間に新会員を紹介した _____
4. 私はR財団のSHAERシステムを理解している _____
5. 私はポール・ハリス・フェローであり、継続して寄付している _____
6. 私は過去2年の間に奉仕活動に参加するか、または奉仕活動への寄付を行った _____

7. 私はクラブ又は地区又は RI ウェブサイトを 毎日(5 点)、毎週(4 点)、毎月(3 点)、時に(2 点)、一度もない(0 点) 見ている _____
8. 私は例会欠席時のメイクアップを 毎回(5 点)、時々(3 点)、一度もなし(0 点) 行っている _____
9. 私は地区委員を 過去 1～5 年(5 点)、過去 6～10 年(3 点)、それ以前又は一度もなし(0 点) の間に務めた _____
10. 地区大会・国際大会に 昨年(5 点)、過去 2～5 年(3 点)、5 年以上前(1 点)、一度もなし(0 点) 出席した _____
11. R 財団に 昨年(5 点)、過去 2～3 年(3 点)、4 年以上前(1 点)、一度もなし(0 点) 寄付を行った _____

※Q1～11 までの点数を計算して下さい

ボーナス質問 _____
DK(わからない) _____

各合計

クラブ管理 (質問 47)	_____ / 235 点	DK 数 _____ / 38
クラブ会員増強 (質問 33)	_____ / 165 点	DK 数 _____ / 29
R 財団 (質問 21)	_____ / 110 点	DK 数 _____ / 10
奉仕活動 (質問 23)	_____ / 173 点	DK 数 _____ / 22
ロータリー広報 (質問 11)	_____ / 55 点	DK 数 _____ / 6
ボーナス質問 (質問 11)	_____ / 55 点	

総合計 _____ / 793 点
総 DK 数 _____ / 105

評価

700 点以上	最優秀
600 点～699 点	優秀
500 点～599 点	普通
400 点～499 点	努力が必要
300 点～399 点	注意：クラブとして援助が必要かもしれません
300 点以下	早急な援助が必要です

DK (Don't Know) が多くても自分で点数を調整したりしないでください。点数はあくまで参考です。

1-10 DK's	普通
11-20DK's	注意—もう少し自身のクラブに注意を向けましょう
21-35 DK's	危機—自身のクラブについてもっと知る必要があります
36 以上	絶望—新加入の会員であれば別ですが、自身のクラブについて全くとい (容認できない) っていいほど知識がありません。しっかり勉強してください。

これはあなたのクラブに対する非科学的で非加重調整していない分析結果で、この結果はあなたやあなたのクラブが欠けているものを確認するためのみに使用してください。クラブやロータリアンの活動にマイナスの影響を与えると捉えるべきではありません。

2 会員を勧誘する

私たちのクラブが所在する地域社会における、クラブに対する特徴的な見方を再点検していくと共に、新会員を勧誘するためにクラブ会員の質を高めていきます。



セッションの目標

- よいロータリアンの特性を定義する。
- どうしたら、私たちのクラブがよいロータリアンを勧誘することができるかを探る。

セッションの問い

- 1) あなたのクラブにとって「よいロータリアン」とはどのような特性を持った人でしょうか？
- 2) 潜在的な「よいロータリアン」を私たちの住む地域社会のどこで見つけ出すことができるでしょうか？
- 3) あなたのクラブの会員構成（年齢・性別・職業等）は、地元の地域社会の実態を反映していますか？ 職業分類のバランスは？
- 4) 会員候補者にとってあなたのクラブはどれくらい魅力的でしょうか？ また、それを阻害するものがあるとしたら、それは何で、どうやってそれを解決しますか？
- 5) 会員勧誘の委員会活動やそのほかの具体的な方法はありますか？（資料3：P57）
会員勧誘の成功事例があれば教えてください。

セッション2 資料1

会員勧誘の必要知識

- 『会員を勧誘する』には、クラブに元気があり、地域社会でよく認知されていること、つまり将来会員となる可能性の人にとって魅力的であることです。
- クラブの会員になるためには、会員の推薦とクラブの承認が必要です。
- クラブは国際ロータリーと呼ばれる組織の会員であり、会員資格に関して、RI の認証条件やRI 細則などに従わなければならない。
- クラブは自らの会員を自由に選ぶことができます。しかし、会員資格に関する規定やロータリーの方針に従わなければなりません。
- 2016年の規定審議会は、会員増強で最も効果が出る方法をクラブが自由に決定できる柔軟性を承認しました。それらの変化は次のような点です：
 - クラブは例会開催日時を自由に変更できる。
 - クラブは実際に顔を合わせる例会でも、オンラインの例会でも選択することが出来る。
 - 1ヶ月に最低二回以上の例会を開催すればよい。
 - クラブは奉仕活動やその他のクラブの催しを例会と見なすことができる。
 - クラブは会員資格に柔軟性を選択できる。
 - **会員資格の基準が簡潔に改定された。**
 - ◇ RI 定款 第5条会員
第2節 - クラブの構成。
(a) クラブは、善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、事業、専門職務、職業および/または地域社会でよい評判を受けており、地域社会および/または世界において奉仕する意欲のある成人によって構成されるものとする。上記に加え、以上のいずれの場合も、その事業場、またはその住居がそのクラブの所在地域内、もしくはその周辺地域にあること。クラブの所在地域外、もしくはその周辺地域外へ移転する会員は、理事会が承認し、さらに同課員がクラブ身分のすべての条件を引き続き満たしている場合、その会員身分を保持できる
 - ◇ 標準ロータリークラブ定款
第8条 会員身分
- 全般的資格条件。本クラブは、善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、事業、専門職務、および/または地域社会でよい評判を受けており、地域社会および/または世界において奉仕する意欲のある成人によって構成されるものとする。

- 1989年以来、女性がロータリーに入会することが認められています。2021年現在、女性会員の割合は世界のロータリアンの約24%です。

主な国の女性会員の割合

2021年7月の女性会員の割合					
順位	国名	会員数	女性会員の割合	クラブ数	1クラブ当りの会員数
1	アメリカ	283,304	33.02%	7,465	37.95
2	インド	158,337	14.18%	4,322	36.64
3	日本	83,679	7.08%	2,224	37.63
4	韓国	62,411	22.19%	1,682	37.11
5	ドイツ	57,044	13.58%	1,110	51.39
6	ブラジル	51,076	29.58%	2,425	21.06
7	イタリア	37,995	19.58%	915	41.52
8	イギリス	30,563	19.87%	1,295	23.60
9	台湾	32,936	27.01%	918	35.88
10	フランス	28,219	22.78%	1,079	26.15
11	オーストラリア	24,683	29.65%	1,028	24.01

2019年1月理事会決定

第81号 ロータリーの多様性、公平さ、およびインクルージョン方針

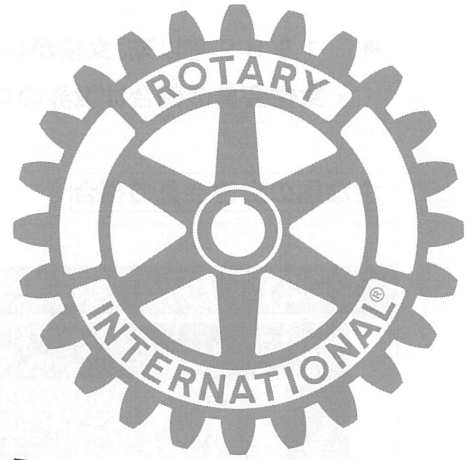
理事会は

1. 下記の国際ロータリーの多様性、公平さおよびインクルージョン方針を承認する。

ロータリーは、持続可能な変化を生むために人びとが手を取りあって行動する世界を目指すグローバルネットワークとして、多様性を重んじ、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、性自認にかかわらず、あらゆる背景をもつ人の貢献を称えます。

ロータリーは、過小評価されたグループの人々がそのメンバーや指導者として参加できるより多くの機会を持てるような文化、すなわち多様性で、公平で、インクルーシブな（包容力のある）文化を醸成します。

2. 2023年6月までにロータリーとロータリーの指導層の女性の割合を30%にする目標を設定する。
3. 事務総長に、目標と声明を支える行動計画を開発するよう要請する。



会員増強 委員長の仕事

会員増強委員長の役割は、新会員の勧誘と既存会員の維持のための行動計画を立て、実行することです。「クラブを成功に導くリーダーシップ:会員増強委員会編」には会員増強委員会と委員長の仕事が詳しく説明されています。

責務

すべての委員会に共通

地区研修・協議会に出席する。

会長エレクトと協力して委員の人選と研修を行う。

必要に応じて小委員会を設ける(例:入会見込者、会員の積極的参加、新会員オリエンテーション、メンタリングなど)。

定期的に委員会会合を開き、活動を計画する。

クラブ目標を支える委員会目標を立て、目標に向けた委員会の活動状況を随時確認する。

委員会予算を管理する。

クラブのほかの委員会と協力する。複数クラブでの合同活動において地区委員会と協力する。

委員会の活動状況について、会長、理事会、クラブ全体に報告する。

そのほかにクラブが委員会に割り当てている役割を担う。

会員増強委員会

新会員勧誘の方法を会員に紹介し、会員維持策を実践する。

会員の職業分類を調べる。

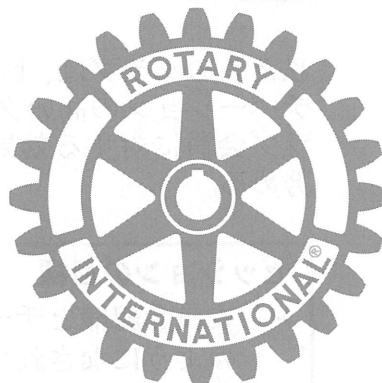
現在の例会、プロジェクト、その他の活動を見直し、新会員にとって魅力的なクラブであるかどうかを評価する。

会員の満足度を高めるための行動計画を立てる。

会員増強と会員維持の成果を調べる。

必要に応じて、地区内で新クラブのスポンサー(親クラブ)となる。

新会員を推薦しよう



新会員は、クラブに新しい考え方やアイデアをもたらし、ネットワークを広げ、クラブに活気を与えてくれる存在です。どこの地域社会にも優れた会員候補者が必ずいるはず。肝心なのは、そのような人たちを探し出すことです。会員候補者にロータリーを紹介するために、以下のヒントを参考にしてください。



自分にとっての ロータリーの良さを伝える

- ⊕ ロータリーの会員だからこそ味わえる経験
 - 同じ関心をもつ仲間と交流できる
 - ボランティア活動を通じて地域に貢献できる
 - 海外の会員と親交を深められる
- ⊕ 職業人としての学びと成長の機会
 - ビジネス仲間と知り合い、職業人のネットワークを広げる
 - 職業のスキルと知識を磨く
- ⊕ ソーシャルメディアでロータリーの活動の動画や写真を共有し、ネットワークを拡大
- ⊕ ロータリーの襟ピンを身につけて会話のきっかけに



クラブやロータリーの 情報を共有する

- ⊕ ロータリーへの関心を示した人にはクラブのウェブサイトやRotary.orgを紹介
 - ⊕ クラブの最近の活動やイベントを紹介するクラブのパンフレット
 - ⊕ 例会または会員候補者を対象とした説明会をクラブで開催
 - ⊕ 友人、家族、同僚も一緒にクラブの奉仕活動やイベントに参加
- 入会への関心を示した人には、会員に期待されること（会費など）を事前に説明しましょう



新会員を推薦する

入会候補者が見つかったら、クラブが定めている新会員推薦の手続きに沿って推薦しましょう

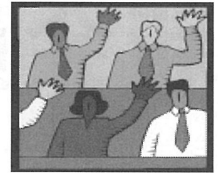
ウェブサイトで

クラブのパンフレット作成には、ロータリーのブランドリソースセンターにあるテンプレートをご利用ください

新会員を迎え入れるための資料やツールはwww.rotary.org/ja/membershipをご覧ください

3 チーム作りとクラブコミュニケーション

私たちのクラブは、私たちの奉仕の目標達成のために、効果的でモチベーションの高いグループに対する協力を推進するとともに、クラブ会員に対する効果的なコミュニケーションを促進するように努める。



セッションの目標

- ▶ 委員会組織とチーム作り（チームビルディング）があなたのクラブの中でどのようになされているのか調べてみましょう。
- ▶ 強い委員会と弱い委員会の特徴を議論しましょう。
- ▶ 効果的なコミュニケーションの基本的な要素について理解する。
- ▶ 効果的なコミュニケーションの方法をクラブのリーダーシップに応用する。

セッションの問い

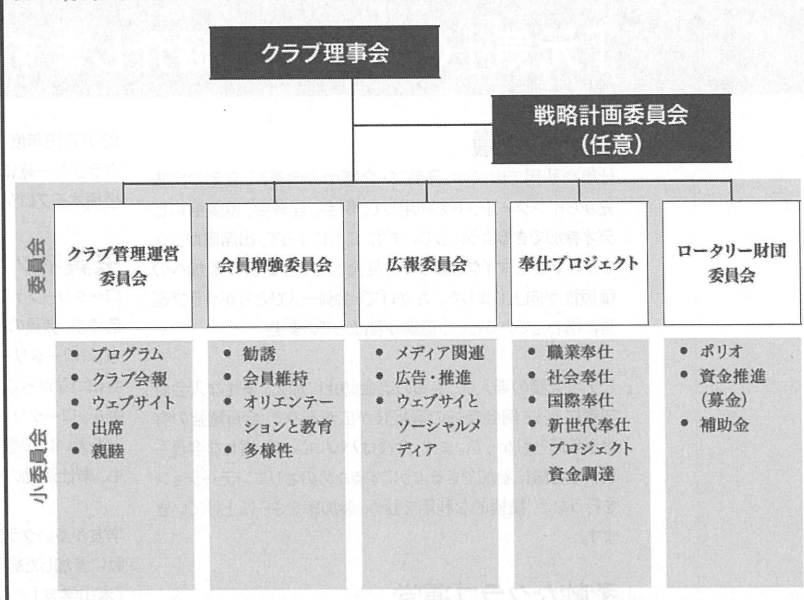
1. あなたが考える最高の（理想的な）委員会とはどんな委員会ですか？
2. あなたのクラブの委員会編成で問題点や課題は何ですか？（資料 1：P59）
3. あなたのクラブにおける、オープンなコミュニケーションに対する障壁や問題は何でしょうか？
4. あなたのクラブ内で、オープンなコミュニケーションを可能にする仕組みや工夫を紹介してください。

セッション3 資料1

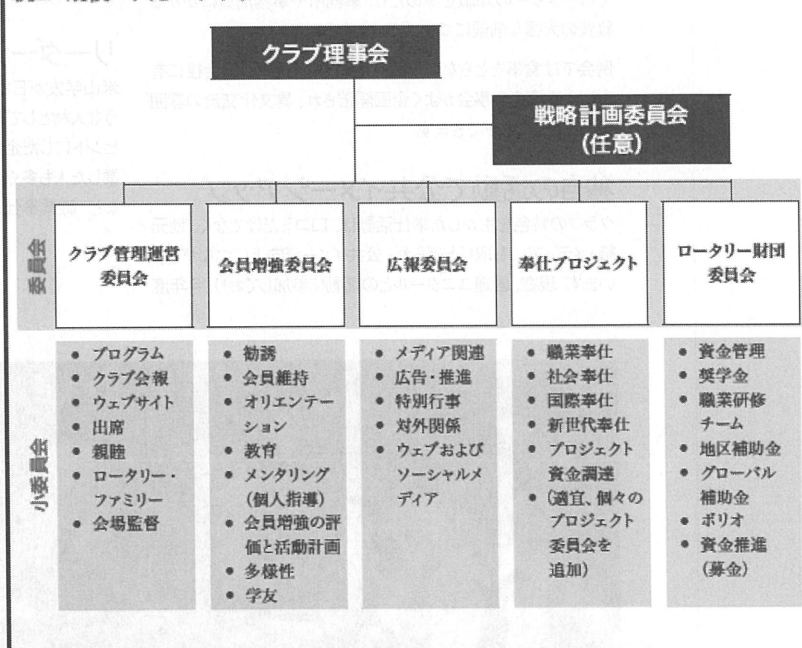
クラブ委員会構成例

5つの委員会が推奨されており、各クラブは、独自の関心や活動に応じて、ほかの委員会や小委員会を追加、あるいは削除することができます。適切な小委員会を判断する上でアドバイスや情報が必要な場合は、ガバナー補佐またはガバナーに相談してください。

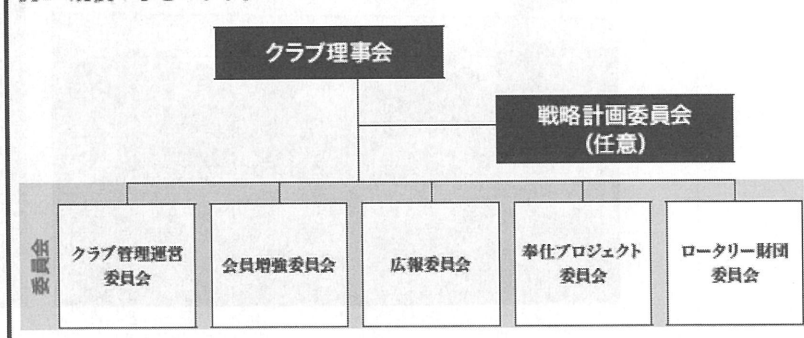
例1: 標準的なクラブ



例2: 規模の大きいクラブ



例3: 規模の小さいクラブ



セッション3 資料2 元気なクラブづくりのために

「元気」の秘訣をご紹介します

ビデオ会議

仕事や私用で出張中、子育て・介護中の会員が、自宅や出張先からインターネットを利用して、例会、理事会、協議会にビデオ参加できるようにしています。これによって、出席率が上がるだけでなく、マイクを通じて意見発言もできるため、参加への積極性が向上しました。おかげで、会員一人ひとりがクラブ運営に携わっているという意識が高まっています。

ビデオ会議の導入は、会員の退会防止に加え、多忙な入会希望者にとって例会参加の選択肢が広がるので、会員増強の有効な手段ともなっています。今後はパソコンに不慣れな会員もビデオ会議に参加できるようにするためのオリエンテーションを行うなど、積極的な利用を勧め、参加率をさらに上げていきます。

柔軟なクラブ運営

事務局をおかないことで、会員が事務的業務をすることによってロータリーの知識を深めたり、事務所や事務局員にかかる経費の大幅な削減につながっています。

例会では食事をとらない形式を用いているため、例会後に有志による親睦食事がよく企画開催され、異文化交流の雰囲気を楽しむことができます。

独自の活動で公共イメージアップ

クラブの特色を生かした奉仕活動は、口コミだけでなく、地元紙・メディアにも取り上げられ、公共イメージ向上につながっています。現在、国連ユニタールとの活動に参加しており、今年度

(2017-18年度)初めてグローバル補助金を活用して、米国のクラブと一緒に広島原爆の生き延びた被爆樹木を世界に植樹するプロジェクトを実施しています。

会員ネットワークの活用

ロータリーファミリーや友人の紹介が多いのもこのクラブの特色です。会員の家族、友人、大学の後輩などを奉仕活動に誘って、ロータリーの活動理念とともに学び、体験し、それが入会につながっています。日本にいるとなかなか体験できない活動を、ロータリーを通じて体験でき、世界中に仲間ができることを大いに謳歌できます。会員出身国の学友会活動の活性化も、奉仕活動の一環として取り組んでいます。

学友が多いクラブの強みは、会員が入会前からロータリーの活動に参加した経験をもっていることです。特に米山奨学生は、「米山学友」としての誇りを胸に、民間大使として日本と母国との懸け橋として、さまざまな分野で活躍しています。このような会員の個性こそがクラブの財産だと強く思います。

リーダーシップの育成

米山学友が日本社会で道を拓き、幹部職として活躍できるような人材として育つことができるよう、RYLAプログラムなどをヒントにした企画にも取り組んでいます。会員には独立して起業した人も多く、海外のビジネス事情について情報交換をするなど、職業奉仕にも役立っています。



元気なクラブとなるためのステップ

あなたのクラブでは、会員が積極的に参加し、実りあるプロジェクトを実施し、新しいアイデアを試していますか？楽しく、活気に満ちていますか？

以下のアイデアを参考にして、会員の積極性と地域の人びとの関心を引き出し、入会を促すためのプランを立てましょう。

クラブの3～5年後の姿を思い描く

- 年に1度、クラブのビジョンについて話し合う。クラブの健康チェックを使ってクラブの強みと改善点を探る。
- 戦略計画立案ガイドを使って長期目標を立てる。

年次目標を立て、ロータリークラブ・セントラルに

- クラブが得意とする活動や分野を見つけ、その長所をさらに伸ばす。
- 月1回、目標に向けた進捗状況を各委員会に伝える。

会員が積極的に参加でき、情報豊かな例会とする

- クラブの良い点、改善点を探るために会員満足度調査を実施する。調査の結果を基に、今後の実行項目を決める。
- 従来型例会、オンライン例会、奉仕プロジェクト、親睦の集まりなど、さまざまな例会形式を取り入れる。

クラブ内でオープンなコミュニケーションを図る

- 例会、クラブのウェブサイト、ソーシャルメディアで情報を共有する。
- 定期的に会員の声を聞く機会を設ける。
- ブランドリソースセンターから入手できるテンプレートを活用し、クラブのパンフレットと会報をつくる。

後継者を育て、スムーズな引き継ぎを図る

- 継続性を図るため、次年度以降のリーダーも任命する。各委員会には現委員長のほか、次期委員長と元委員長も含める。
- 次期役員のために「OJT（オンザジョブトレーニング）」を行う。各役員の責務内容を文書にまとめる。

クラブの運営方法を反映させて、細則を独自に修正する

- 会員とともにクラブ細則を毎年見直す。
- 推奨ロータリークラブ細則のテンプレートに手を加え、クラブの新しい手続きや運営方法が反映されるようにする。

会員同士の交流を深める

- 「新会員オリエンテーション：ロータリーでの第一歩を踏み出してもらうために」を参考にする。
- 毎回の例会で違う会員と同席するようにする。

会員が心から関心をもてる活動に参加できるようにする

- 会員の関心を調べるアンケートを実施し、その結果を基にプロジェクトや活動を計画したり、会員が満足できる例会を企画する。
- 新会員の関心を調べ、各自に合った役割をクラブで担当してもらうことで、入会后早い時期から新会員の参加を促す。

ロータリーのリーダーとなる人材を育てる

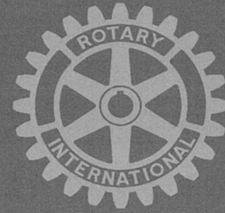
- クラブの研修リーダーまたは研修委員会を任命し、研修プランの立案と実施を担当してもらう。
- 「実践リーダーシップ」の研修を実施し、会員のリーダーシップスキルを磨く。

クラブ運営に必要な委員会を設置する

- 小規模クラブ：委員会の活動を統合する方法を検討する。
- 大規模クラブ：全会員が参加できるよう、追加の委員会を設ける。

セッション3 資料3

クラブ・リーダーシップ・プラン 作成のためのチェックリスト ワークシート



クラブ独自のクラブ・リーダーシップ・プランを作成するために、このチェックリストをお役立てください。クラブのニーズに合わせて追加・編集することができます。

クラブ名:

ロータリー年度:

- 3～5年後のクラブのあるべき姿を実現するための戦略計画がある。
- 会員は積極的に参加している。
例会は以下の形式で行われている。
 - 従来型の例会（毎月 回）
 - オンライン形式（毎月 回）
 - 奉仕活動（毎月 回）
 - 交流／社交行事（毎月 回）
 - その他:
 - その他:
- 役員の継続性がはかられている。
 - 会員は、リーダーの役職に就くための準備を行っている
 - 直前・現・次期のリーダーが決定にかかわっている
- 毎年、楽しい交流・社交行事が計画されている。
 - ネットワークを築き、交流するための行事
 - 家族を招待して実施する行事
- 以下を含む包括的な研修計画がある。
 - 地区大会
 - 地区会員増強セミナー
 - 地区公共イメージ研修セミナー
 - 地区ロータリー財団セミナー
 - 新会員オリエンテーション
 - ラーニングセンターのコースを利用
 - 各クラブ役員の基本情報
 - 会員増強の関連コース
 - 会長エレクト研修セミナー(PETS)

- ロータリークラブ・セントラルで毎年のクラブ目標を入力している。
- 会員や地域社会と連絡を取るためのコミュニケーション計画がある。
 - ソーシャルメディア(フェイスブックなど)を使用している
 - クラブウェブサイトを頻繁に更新・活用している
 - その他:
 - その他:
 - その他:
- クラブ細則は更新されており、クラブの構成・文化・活動を反映している。
- 全クラブ会員が積極的に参加するための戦略・方法がある。
 - 会員はプロジェクトに参加している
 - 新会員にはメンター(助言・相談役)が割り当てられている
- クラブのニーズに応える委員会が設置されている。
 - 管理運営
 - 会員の参加／入会促進
 - 広報
 - ロータリー財団
 - 奉仕
 - その他:
 - その他:
 - その他:

セッション3 資料4：人の前で話す10の秘訣

スピーチをするときに少し神経質に感じるのは普通のことですし、有利な事さえあります。しかし、余りにも神経質になりすぎると却って有害となります。あなたの人前での“あがり”をコントロールし、そしてさらによい発表が出来るための証明された秘訣があります。

1. **スピーチ資料を勉強しなさい。** あなたが興味ある話題を取り上げる。あなたがスピーチで話すことよりも、その内容についてもっとよく勉強すること。ユーモアや個人的な話しや会話型言語を使いなさい。—— 話す内容を容易に忘れない方法です。
2. **練習。練習。練習！** あなたが使おうとしている全ての備品も使って、大声でリハーサル。必要に応じて修正する。補てんする言葉をコントロールしましょう。間と呼吸。タイマーで練習し、予想しないことへの時間を見込む。
3. **聴衆を知る事。** 到着した聴衆の何名かと挨拶する。見知らぬ人達に話しをするよりも友だちのグループに話しをする方が容易です。
4. **場所を知る事。** 早く到着し、スピーチをする場所の周りを歩く。そしてマイクロフォンや（スライドなどの）視覚教具を使って練習。
5. **リラックス。** 聴衆に公式の挨拶から話しを始めます。それで時間を稼いでくれますし、あなたの神経も静めます。一呼吸、微笑み、何か言う前に3つ数えます。（1つの1千、2つの1千、3つの1千。一呼吸。そして始める）神経質なエネルギーを情熱へと変換させる。
6. **あなたがスピーチをしている姿を心に描いてみる。** あなた自身がスピーチをしている姿、あなたの声の大きさ、はっきりと自信に満ちた様子を想像します。そして、聴衆が拍手をする様子を心に描いてみます。—— それはあなたの自信を高めることでしょう。
7. **あなたが成功することを皆が願っていることに気が付きましょう。** 聴衆はあなたの話が、興味深く、興奮し、有益で、面白いことを期待しています。彼らはあなたの味方です。
8. **あなたがどんな神経過敏やパニックになったとしても謝る必要はありません。** —— 聴衆はおそらく決して、気が付いていないでしょう。
9. **手段ではなく、メッセージに集中しましょう。** あなたの注意をあなた自身の不安から引き離して、あなたのメッセージと聴衆に集中させましょう。
10. **経験を得ましょう。** 大概、あなたのスピーチは—— その分野の専門家としての—— あなたを象徴する事でしょう。経験は効果的なスピーチのカギとなり、自信を築いてくれます。トーストマスターズクラブ（Toastmasters Club*）は、あなたが必要としている安心と友好的な雰囲気の中で経験を提供してくれます。

（Toastmaster Club* 訳者注：トーストマスターズ・インターナショナル(Toastmasters International)とは、話し方、パブリック・スピーキング(大勢の人前で話すこと)、リーダーシップ・スキルの上達を目的とするアメリカ発祥の国際的な非営利教育団体。世界中にトーストマスターズ・インターナショナルに所属する自主運営のグループ「トーストマスターズクラブ(Toastmasters Club)」があり、各自が活動を行っている。

4 ロータリー米山記念奨学事業

(米山記念奨学事業の基本と事業の意義)



セッションの目標

- この事業は、いつどのような目的で始められたのか理解する。
- 米山奨学制度の仕組みと特徴を理解する。
- 米山奨学事業の意義を理解する。

「ロータリー米山記念奨学事業 豆辞典」を参考にしてください。

セッションの問い

1. 米山記念奨学事業はどのようにして始まったのでしょうか。(資料1 : P65)
2. 米山記念奨学制度をクラブはどのように支援していますか。(資料1 : P65)
3. 外国人に対する奨学制度は多くありますが、米山奨学制度の特徴は何でしょうか。(資料1 : P65)
4. 米山奨学生をお世話したことがありますか。米山学友を知っていますか。

セッション4 資料1

ロータリー米山記念奨学事業基礎知識

(「ロータリー米山記念奨学事業 豆辞典」より)

1 ロータリー米山記念奨学事業とは

ロータリー米山記念奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。

事業の使命

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものです。

60年にわたって受け継がれている事業

日本のロータリーの創始者、故・米山梅吉翁の偉業を記念し、後世に残るような有益な事業を立ち上げたい――。

1952年、東京ロータリークラブが発表したのは、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業、「米山基金」の構想でした。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したい…という、当時のロータリアンたちの強い願いがあったのです。

「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」

(「ロータリー米山記念奨学会史」より)

日本のロータリーによる多地区合同活動

クラブ単独事業として始まったこの事業は、わずか5年で日本全国の共同事業へと発展。1967年には文部省(当時)を主務官庁とする(財)ロータリー米山記念奨学会が設立されました。歴史的にも世界に類を見ない日本のロータリー独自の多地区合同活動となっています。

交流を大切にしています。奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会に出席し、会員との交流によって日本の社会を知り、ロータリークラブについて学びます。また、奨学期間終了後も「ロータリー学友」として、国際ロータリーの国際的コミュニティに参加することができます。

特長その1 世話クラブ・カウンセラー制度

世話クラブ・カウンセラー制度奨学生一人ひとりに地区内のロータリークラブが「世話クラブ」となります。奨学期間中、奨学生は世話クラブで奨学金を受け取り、交流します。さらに、世話クラブの会員が「カウンセラー」となって、日常の相談役をつとめます。

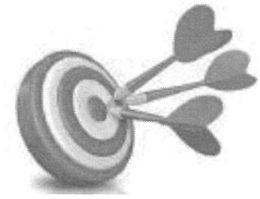
特長その2 日本最大の民間奨学事業

2021学年度の奨学生数は910人、事業費14億5千万円(2020-21年度決算)と、外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。これまでの累計奨学生数は22,267人(2021年7月現在)、その出身国は世界129の国と地域に及びます。

2 ロータリー米山記念奨学会のあゆみ

- 1946●米山梅吉氏逝去
- 1952●東京 RC が奨学事業の構想を立案
- 1953●「米山基金」の募金開始
- 1954●奨学生第 1 号のソムチャード氏がタイより来日
- 1957●全国組織とすべく、財団法人化を前提とした「ロータリー米山奨学委員会」を結成
- 1958●新組織初の奨学生 8 人を採用
- 1959●世話クラブ制度設置
- 1960●「ロータリー米山記念奨学会」と改称
- 1967●文部省から財団法人の許可を得て「財団法人ロータリー米山記念奨学会」設立
- 1971●カウンセラー制度設置
- 1972●米山功労者制度の設定
- 1978●特別寄付金への免税措置の認可を得る
- 1981●CY 奨学金（現：クラブ支援奨学金）制度開始
- 1983●台湾米山学友会（扶輪米山会）正式発足
- 1985●国内初の米山学友会（関東）が誕生
- 1989●韓国米山学友会正式発足
- 1989●4 月採用から元ロータリー所在国へ門戸を開く
- 1999●4 月採用から全ての国・地域が対象となる
- 2001●日本政府から留学生交流功労団体として表彰される
- 2002●4 月採用から指定校・大学推薦制度を全国で施行
- 2004●大阪国際大会に初ブース出展
- 1989●RI 理事会で米山記念奨学事業が賞賛を受ける
- 2005●4 月採用から採用数・奨学金額を縮減
- 2006●制度改編・新制度発足「現地採用奨学金」、「地区奨励奨学金」
- 2007●日本全地区によるロータリーの多地区合同奉仕活動としての手続が完了
- 2008●ホームカミング制度がスタート
- 2009●中国米山学友会正式発足
- 2010●第 2750 地区に東京米山友愛 RC 創立
- 2012●「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」となる
- 1989●タイ米山学友会設立
- 1989●タイ・バンコク国際大会にブース出展
- 2013●ロータリー世界平和フォーラム広島にブース出展
- 1989●ネパール米山学友会設立
- 2014●モンゴル米山学友会設立
- 2016●ソウル国際大会にブース出展。初の分科会開催。
 - スリランカ米山学友会設立。
 - マレーシア米山学友会設立
- 2017●ミャンマー米山学友会設立
 - 財団設立 50 周年
- 2018 ● 財団設立 50 周年記念式典

5 ロータリー財団Ⅱ 目標とする奉仕



ロータリー財団のプログラムを通じて、目標としている、ユニークで意義深い奉仕活動の機会へのクラブ会員の参加を促進することができます。

セッションの目標

- ▶ 補助金モデルのクラブにおける重要性を議論する。
- ▶ シェアシステムの仕組みを理解する
- ▶ ロータリーの『7つの重点分野』の役割について学ぶ。
- ▶ 補助金モデルにとって、『持続可能性』の重要性について理解を深める。

セッションの問い

- 1) ロータリー財団の使命について、ざっと振り返ってみましょう。

Part I の復習

ロータリー財団は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるように支援することである。(ロータリー財団章典 10.020. 2020年6月管理委員会会合、決定 131号)

- 2) ロータリー財団の補助金モデルはどのような種類がありますか？(資料1:P68)
また、それぞれの補助金はどのように使われるのでしょうか？
- 3) 私の寄付はどのような仕組みで活用されているのでしょうか。(シェアシステム)
(資料2:P69)
- 4) 7つの重点分野について考えてみましょう。なぜ7つの重点分野が重要なのでしょうか。(資料7:P83)
- 5) 『持続可能性』(sustainable)とは、どのような意味でしょうか？プロジェクトにおける『持続可能性』の意義は何でしょうか？(資料4:P75)

セッション5 資料1

補助金モデル

財団補助金	
地区補助金	グローバル補助金
<p>あなたの地域や海外の地域において小規模で短期的な活動をするための資金。 各地区はこの補助金を利用して行う活動を選ぶことができます。</p>	<p>ロータリーの重点分野における持続可能且つ測定可能な、大規模で国際的な活動を支援します。 (補助金を必要とする) 地域のニーズに応える、国際的なパートナーシップからの補助金。 グローバル補助金の最低予算は 30,000 ドルであり、国際財団活動資金 (WF) の最高授与額は 400,000 ドルです。</p>
<p>調査や検証のための旅行や災害復興支援を含む人道的プロジェクト； すなわち、任意の研究範囲あるいは研究期間の奨学金、職業研修チームや研究グループ交換。</p>	<p>ホストとスポンサーの 2 ヶ国のクラブが必要です。 奨学金、人道的プロジェクト及び職業研修チーム。</p>

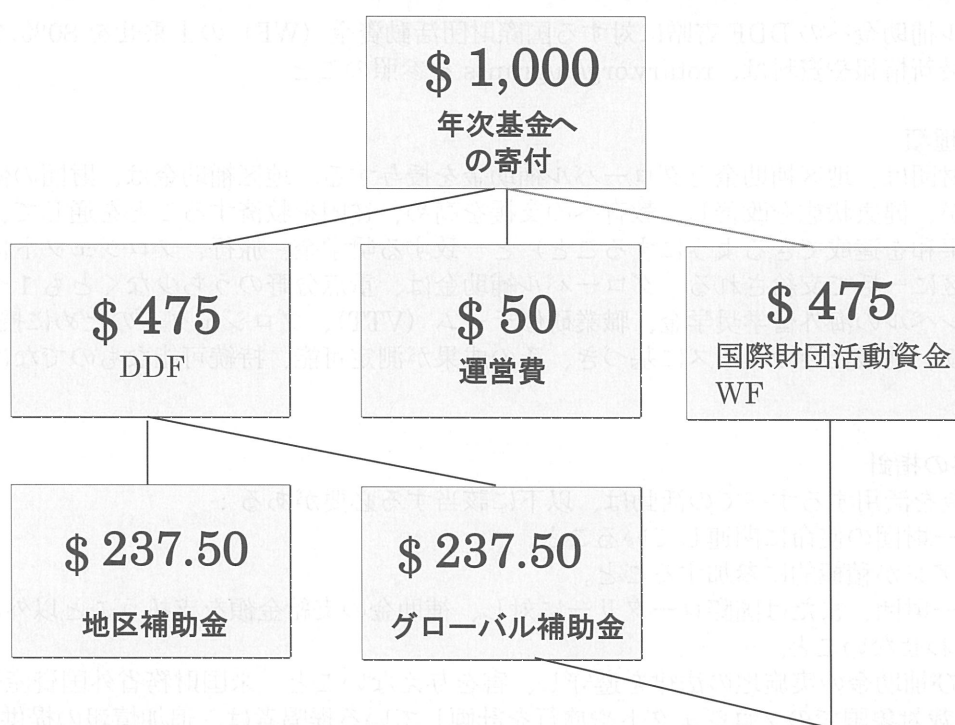
注) 地区補助金：地区補助金（グローバル補助金ではありません）は、現在、(a) ロータリー青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム [RYLA]、ローターアクト、インターアクト、(b) 低コストのシェルターを含めた建物の建設、(c) 協力組織の職員の旅費、(d) ロータリー以外の組織によって主に実施された活動、が追加的に資金提供できるようになった。さらに、教育的および人道的研修行事にも現在、認められています。

(2014年4月管理委員会決定第96号)

*地域社会のニーズ調査(地域調査)が必要となります。

セッション5 資料2：シェアシステムと基金寄付

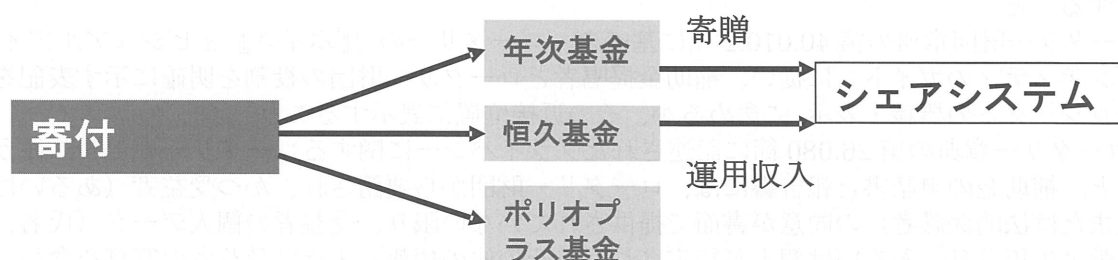
シェアシステム 2021年7月1日から有効



グローバル補助金の DDF に対する WF からの上乗せは 80%に引き下げ。
 ポリオプラスへの DDF の寄贈に関しては WF から 100%ではなく 50%が上乗せされ、
 更に、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からは今後とも 2 倍が上乗せされます

DDF：地区財団活動資金

基金寄付



セッション5 資料3

ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件（抜粋）

ロータリー財団は、方針の変更を反映させ、内容をより明確にするために、この授与と受諾の条件をいつでも修正することができる。2021年7月の変更には以下が含まれる：

- ・ グローバル補助金への DDF 寄贈に対する国際財団活動資金（WF）の上乗せを 80%に変更。このほかの最新情報や資料は、rotary.org/ja/grants を参照のこと。

I. 補助金の種類

ロータリー財団は、地区補助金とグローバル補助金を授与する。地区補助金は、財団の使命（ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること）と一致する奨学金、旅行、プロジェクトに充てるために、地区に一括で支給される。グローバル補助金は、重点分野のうち少なくとも1つに関連する大学院レベルの海外留学奨学金、職業研修チーム（VTT）、プロジェクトのために授与されるものであり、地域社会のニーズに基づき、その成果が測定可能、持続可能なものでなければならない。

II. 受領資格の指針

財団の補助金を活用するすべての活動は、以下に該当する必要がある：

1. ロータリー財団の使命に関連していること。
2. ロータリアンが積極的に参加すること。
3. ロータリー財団、または国際ロータリーに対し、補助金の支給金額を支払うこと以外に何の責任も負わせないこと。
4. 米国および補助金の実施地の法律を遵守し、害を与えないこと。米国財務省外国資産管理局による制裁対象国でのプロジェクトや旅行を計画している提唱者は、追加情報の提供が必要な場合がある。
5. 実施に先立ってロータリー財団により審査され、承認されていること。既に完了済みあるいは進行中のクラブや地区の活動や経費に充てる目的で補助金を使用しないこと。承認に先立って補助金活動の計画を立てることが奨励されているが、承認前に経費が発生してはならない。補助金が承認された後にプロジェクト計画に変更を加える場合は、その変更について事前にロータリー財団の承認を得る必要がある。
6. 実施地の伝統と文化に配慮する姿勢を示すこと。
7. ロータリー財団章典の第 30.040 節ならびに以下の XIV に基づき、「プログラム参加者のための利害の対立に関する方針」を遵守すること。
8. ロータリー章典の第 34.040.6 項ならびに 34.040.11 項に基づき、ロータリーという名称、その他のロータリー標章、徽章およびグラフィックの使用に関する国際ロータリーの方針を遵守すること。
9. ロータリー財団章典の第 40.010.2 項に基づき、ロータリーの『『ボイス』とビジュアルアイデンティティのガイド』に従い、補助金提唱者とロータリー財団の役割を明確に示す表記をプロジェクトの標識・表示に含めるか、その近接位置に表示すること。
10. ロータリー章典の第 26.080 節に記述されたプライバシーに関するロータリーの声明に従うこと。補助金の申請書と報告書には、ロータリー財団から要請され、かつ受益者（あるいは親または法的保護者）の同意が書面で提供されていない限り、受益者の個人データ（氏名、年齢／生年月日、あるいは個人が特定されるその他の情報）または受益者の写真を含むべきではない。そのような個人データが不適切に含まれている場合、ロータリーのプライバシーの方針への遵守をロータリー財団が確認する間、補助金手続きの遅延につながる可能性がある。

地区補助金

以上の要件に加え、地区補助金は以下に該当しなければならない。

1. 地元と海外において、プロジェクト、奨学金、職業研修チーム、およびそれらに関連した旅行を支援するものである。
2. 奨学生や職業研修チームのオリエンテーション、補助金管理セミナーに資金を充てることができる。
3. クラブと地区による協同提唱者探しを援助するため、ロータリーのプロジェクトフェアに行くための旅費および参加費に充てることができる。
4. 該当する法律によって認められ、またロータリー財団の方針に従っている場合、ロータリー国・地域とそれ以外の国・地域におけるプロジェクトと活動に資金を充てることができる。
5. ロータリー青少年交換、RYLA、ロータリー友情交換（職業的側面を強調したもの）、ロータリーアクト、インターアクト、新世代交換プログラムを支えるために使用できる
6. 地域社会調査の実施にかかる費用に充てることができる。
7. 建設と改築に充てることができる。

グローバル補助金

以上の要件に加え、グローバル補助金は以下に該当しなければならない。

1. ロータリーの重点分野の一つ以上に関連している。これらの活動には、人道的プロジェクト、1～4 学年の大学院レベルでの教科履修や研究のための留学用奨学金、および／または専門的な研修を提供することで人道的ニーズに取り組む職業研修チームが含まれる。
2. ロータリークラブが存在する国や地域にある地域社会を支援する。
3. プロジェクトが実施される地域社会のニーズに基づいている。人道的プロジェクトまたは職業研修チームのためのグローバル補助金を申請するクラブと地区は、地域社会のニーズ調査を実施し、実施地域の地域社会と共に、その結果に対応するようなプロジェクトを立案する必要がある。提唱者は、地域社会調査の結果を補助金の申請書に含めなければならない。
4. 補助金プロジェクトが実施される国の1つのロータリークラブまたは地区（実施国側代表提唱者）と、実施国以外の一つのロータリークラブまたは地区（援助国側代表提唱者）により提唱される。ロータリークラブが存在しないが国際ロータリー理事会が積極的に拡大に取り組んでいる国で実施されるプロジェクトに関しては、この方針の例外が認められる場合がある。
5. 持続可能である。ロータリークラブや地区が活動を完了した後も、実施地の地域社会が自力でニーズに取り組んでいなければならない。
6. 測定可能である。提唱者は、「グローバル補助金：モニタリングと評価の計画について」から評価基準を選ぶ。
7. 次を含むインフラストラクチャーの建設に使用できる：トイレ棟および衛生システム、連絡道路、ダム、橋、倉庫、フェンスとセキュリティシステム、水・灌漑システム、温室。地下水を利用するプロジェクトの場合、水文地質学的調査を実施する必要がある。調査の費用は、補助金予算に含めることができる。
8. 人道的プロジェクトの一環として、最高2名までの海外旅費を賄う。これらの人は、現地で研修を提供したり、プロジェクトを実施したりする。ただし、これらの人が持つスキルが現地で得られないことを実施国側のクラブが確認した場合に限る。

III. 制約事項

補助金は、いかなるグループも不当に差別したり、特定の政治的・宗教的見解を推進したり、完全に宗教を目的とした催し物を支援したり、妊娠中絶に関連する活動や性決定のみを目的とする活動を支援したり、武器や弾薬の購入資金に充てたり、ロータリー財団への新たな寄付またはロータリー財団の他の補助金への新たな寄付とすることはできない。

これに加え、補助金を以下の目的に使用することはできない。

1. 特定の受益者、団体、地域社会に対する継続的または過度の支援。
2. 財団、恒久的信託、利子の発生する長期口座の開設。ただし、第 XI セクションに記載された要件に提唱者が従うならば、補助金資金を小口融資ファンドの設立のために使用できる。

3. 土地や建物の購入。
4. 募金活動。
5. 地区大会、国際大会、研究会、創立記念式典、娯楽活動、プロジェクトでの式典などのロータリー行事に関連する経費。
6. 広報的な取り組み（プロジェクト実施に不可欠な場合を除く）。
7. 1,000 ドルを超える、プロジェクトの標識。
8. 他団体の運営費、管理費、間接プログラム経費（グローバル補助金における協力団体でのプロジェクト管理費を除く）。
9. 受益者や協力団体への使途無指定の現金寄付。
10. 既に経費が発生した活動。
11. ワクチンの出所となる国ならびにワクチンの受領国のしかるべき政府や規制当局からの事前の承認なく実施される国境を越えたワクチンの輸送。
12. 全国予防接種日（NID）に出向くための旅費。
13. ポリオワクチンのみを含む予防接種。
14. 新型コロナワクチンの購入。
15. ロータリー平和センター提携大学において、ロータリー平和フェローが専攻するのと同じ、または類似した専修プログラムで学ぶための留学。
16. 報酬なしで労働する人が必要とされるプロジェクト。その代わりにプロジェクトは労働者の権利と適正な賃金の慣行を目指すものであるべきである。スウェットエクイティを提供することを受益者に求める場合、これらの受益者からの明確な同意が必要である。
17. 当該国の法的な労働年齢未満の人、または法律で年齢が定められていない場合は 16 歳未満の人による労働が必要とされるプロジェクト。

グローバル補助金

上記に加え、グローバル補助金を以下の目的に使用することはできない。

1. ロータリー青少年交換、RYLA、ロータリー友情交換、ローターアクト、インターアクト、または新世代交換プログラム
2. 18 歳未満の青少年の海外渡航費（保護者同伴の場合を除く）
3. 人が居住、仕事、またはかなりの時間を過ごす永久建造物、すなわち病院、コンテナハウス、移動住宅など、もしくは製造や加工などを実施するための建造物の新たな建設。補助金プロジェクトの実施にあたって建物の建設が必要な場合、この建設費用は補助金以外の資金で賄わなければならない。
4. 一部建設済み（外装のみ完成した建造物を含む）であるが入居または運営されたことのない建造物を完成させるための修復
5. 人道的プロジェクトに参加する協力団体の職員の旅費。
6. ロータリー以外の団体が主体となって実施する活動。
7. 主に研究・調査またはデータ収集から成る人道的プロジェクト
8. 個人の旅行経費のみを含む人道的プロジェクト。
9. 大学の学士課程での勉学。
10. 1 つの補助金の下で行われる、互いに関連していない複数のプロジェクト。

地区補助金の場合：

1. 地区は、年度中に発生し得る臨時費のために、地区補助金の 20 パーセントまでを取っておくことができるが、承認された後に補助金に追加するすべてのプロジェクトと活動は、資金を利用する前に財団からの承認を受ける必要がある。使用計画にこの臨時費を盛り込み、最終報告書を提出する際に臨時費の内訳を記載する必要がある。
2. 補助金の 3 パーセントまでを、補助金に関連した管理運営費（銀行手数料、郵送料、ソフトウェア、独立財務評価など）に充てることができる。

グローバル補助金

実施国と援助国の代表提唱者は、それぞれ、グローバル補助金を担当する 3 名のロータリアンから成る補助金委員会を設置する必要がある。この補助金委員会の委員は、代表提唱クラブの会員

(クラブ提唱の場合) または代表提唱地区の会員 (地区提唱の場合) とする。クラブが提唱者となって補助金を申請する場合、代表提唱クラブが参加資格認定を受けていることを地区ロータリー財団委員長が確認する必要がある。申請書は、ロータリー年度を通じて随時受理され、資金の利用可能性に応じて承認される。

グローバル補助金の場合：

1. 提唱クラブまたは地区は、物価上昇や為替変動に対応するため、全予算額の 10 パーセントまでを臨時費に配分することができる。提唱クラブ/地区は、この臨時費から支出があった場合、それを報告し、全額使用しなかった場合は、財団に返金する必要がある。
2. プロジェクト予算の 10 パーセントまでを、プロジェクト管理費 (協力団体において、そのプロジェクトのマネジャー費用、諸経費、運営管理諸経費が発生する場合はそれも含む) に充てることができる。
3. プロジェクト予算の 10 パーセントまでを、プロジェクトの成果を測定するための経費に充てることができる。奨学生と職業研修チームメンバーは、補助金全体の申請の補足資料として個人の参加申請書を提出する必要がある。奨学生ならびに職業研修チームの申請者が、経費の利用または旅行の手配の前に、財団による申請書の承認が必要であることを理解していることを確認すべきである。奨学生、職業研修チーム、ボランティアの旅行を含む申請書は、旅行日の 90 日前までに提出する必要がある。

留意点：

1. 申請書への記入が開始されてから 12 カ月以内に、財団へ申請書が提出されなかった場合、申請は取り消しとなる。
2. 申請書の提出から 6 カ月以内に、申請に必要な情報がすべて提出されず、承認されなかった場合、申請は取り消しとなる。
3. 申請書の承認後 6 カ月以内に支払い要件が満たされなかった場合、補助金は取り消しとなる。
4. 支払い後 12 カ月以内に補助金プロジェクトが実施されなかった場合、補助金は取り消しとなり、提唱者は資金を返還するよう義務づけられる。

奨学金の申請における追加要件：

1. 補助金の申請時に、大学院課程への大学からの入学許可状、または大学院レベルの研究を行うための招請状を提出する必要がある。学費支援の保証を必要とする条件付きの入学許可状も認められる。
2. 申請者が、自国外で学業を行う必要がある。
3. 8 月、9 月、10 月のいずれかの月に留学を開始する奨学金の申請は、6 月 30 日までに提出する必要がある。
4. 奨学生の学業期間は、留学中のどの学期から開始されても構わないが、資金が提供される期間は 1 学業年以上となる。

職業研修チームの申請における追加要件：

1. チームは、ロータリアンのチームリーダー 1 名と最低 2 名のメンバーから成る少なくとも 3 名で構成される必要がある。メンバーは、重点分野において各自少なくとも 2 年の職務経験を有し、ロータリアンのチームリーダーはロータリーの知識と国際経験、指導力、重点分野におけるいくつかの専門知識を備えている必要がある。ロータリアンではない人がチームリーダーを務めることもできるが、その場合、提唱者が補助金申請書にその必要性を十分に説明しなければならない。
2. ロータリアンとその家族が職業研修チームに参加する場合は、そのチームが研修を (受けるのではなく) 提供する側であること。
3. 職業研修チームのメンバーとその親族が同じチームに参加する場合は、その親族も参加要件を満たしていること。

4. 1口の補助金で複数のチームが旅行をする場合、これらのチームは、代表提唱者2者が同じであり、最初のチームの旅行開始日から1年以内に、最後のチームの旅行が開始されること。
5. すべてのチームメンバーが、旅行の前にロータリー財団から承認を得ている必要がある。チーム構成の変更はすべて、ロータリー財団に報告し、その承認を得る必要がある。

VI. 補助金の資金源

地区補助金

地区補助金は、地区財団活動資金（DDF）からの配分のみによってロータリー財団から支給されるものである。地区は、一つまたは複数のプロジェクトを支援するために、地区のシェア配分（地区の3年前の年次基金への寄付および恒久基金〔シェア〕収益を合わせた額の50パーセント）の50パーセントまでを使って、年に1口の補助金を申請できる。

グローバル補助金

グローバル補助金の最低予算は30,000ドルであり、国際財団活動資金（WF）の最高授与額は400,000ドルである。補助金提唱者は、地区財団活動資金（DDF）、現金、および／または冠名指定寄付と恒久基金の収益を組み合わせてグローバル補助金に充てることができます。財団は、すべてのDDF寄贈に対して80%のWFを上乗せする。国際財団活動資金（WF）の授与額に下限はない。提唱者はまた、国際財団活動資金（WF）からの上乗せなく、現金、DDF、および／または冠名指定寄付と恒久基金の収益の組み合わせを使用することで、グローバル補助金の最低予算30,000ドルを調達する選択肢もある。

補助金提唱者は、グローバル補助金に現金を拠出できるが、それに対する財団からの上乗せはない。ロータリアン以外からの寄付も補助金に追加できるが、ただし、この寄付が補助金の協力団体、プロジェクトの業者、もしくは受益者から寄せられたものである場合を除く。ロータリアン以外からの寄付に対しては、財団からの上乗せはない。現金拠出には、それがロータリアンからであっても、ロータリアン以外からであっても、管理運営費を賄うため5%の上乗せを含めなければならない。

補助金による恩恵を受ける条件として、受益者から資金を集めてはならない。人道的プロジェクトのためのグローバル補助金の場合、寄付の少なくとも15パーセントが、プロジェクト実施国以外から寄せられたものである必要がある。人道的プロジェクト

の実施地側提唱者は、補助金への資金供給に寄与することが奨励される。年次基金への現金寄付を、グローバル補助金に移すことはできない。

補助金のための拠出金は、承認された後で変更することはできない。ポール・ハリス・フェロー認証に向けたポイントは、ロータリー財団に送られた提唱者拠出金のみ与えられるものであり、プロジェクトに直接送られた寄付には与えられない。

提唱者は、補助金が承認される前に寄付を送金するべきではない。補助金の承認に先立ってロータリー財団へ送られた提唱者拠出金は、その補助金の申請書のためのものとなるが、申請書が承認されなかった場合、その寄付は年次基金に回されることになる。寄付が年次基金（シェア）に回された後には、これを再配分することはできない。グローバル補助金への拠出金／寄付はすべて、取消しのできないロータリー財団への寄付とみなされ、返金されない。

ロータリーからの奨学金に加えて他団体からも奨学金を受領する奨学生は、ロータリー以外からの奨学金を利用しても構わないが、その場合、財団はその金額または個人的資金への上乗せは行わない。ロータリー財団は、米国内で就学するためのグローバル補助金奨学金（授業料、書籍代、必要備品代、手数料を除く部分）に源泉徴収税を適用することが義務付

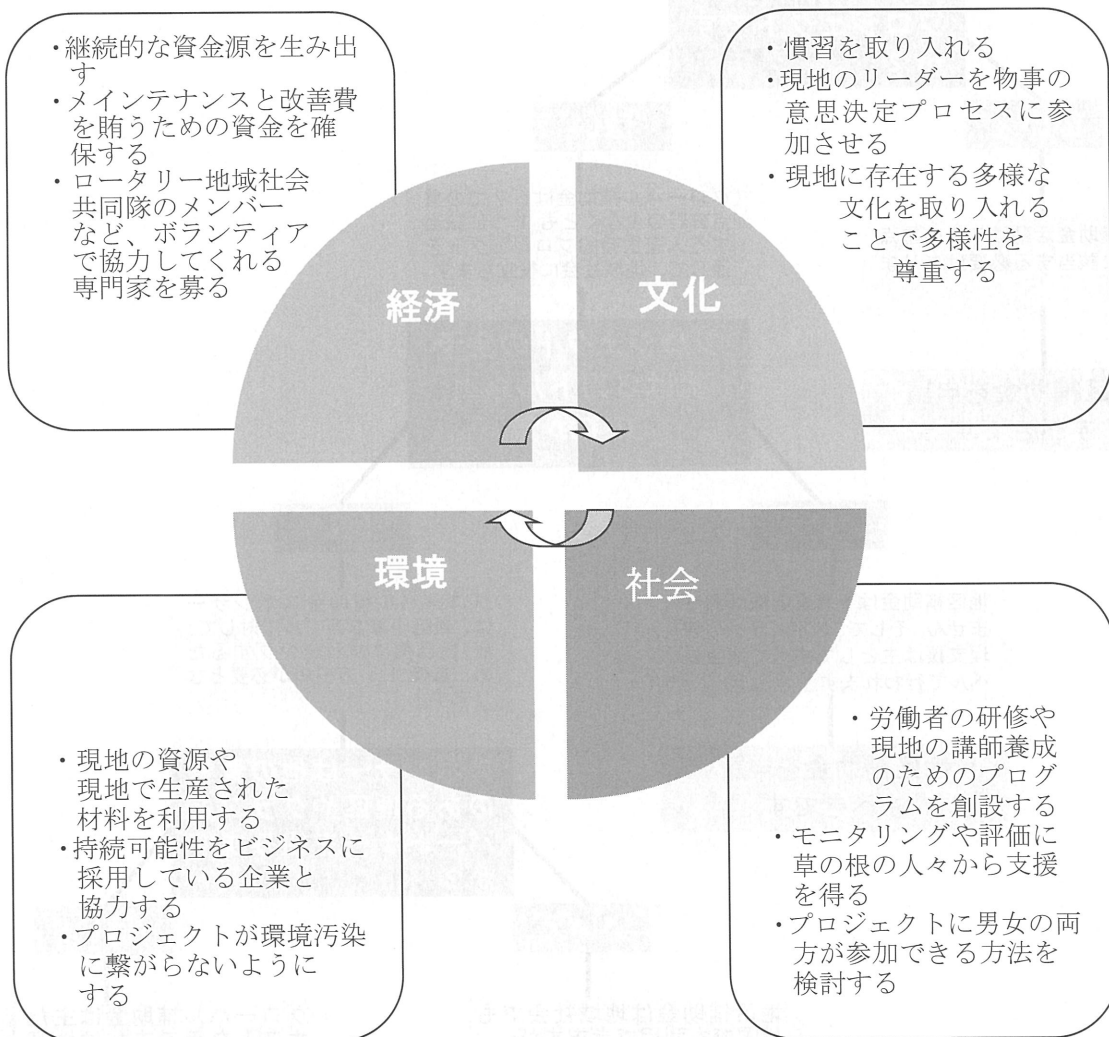
けられている（日本、カナダ、ドイツからの留学生の場合、協力財団を通じて資金が提供されるため、この法規は適用されない）。源泉徴収分は、奨学金の支払から差し引かれる。

セッション5 資料4

持続可能性とは何か？

持続可能性という言葉はしばしば、『環境にやさしい』という意味で用いられます。しかし、環境問題は持続可能性の単なる一面に過ぎません。経済、文化、そして社会的要因も同様に重要です。これらの4つの分野すべてにおいて持続可能性に取り組めば、人道的プロジェクトを実施した地域社会の利益を長期的なものにする良い機会となります。各分野で持続可能性をプロジェクトに採用する方法を、以下にいくつかご紹介します。

(The Rotarian 2012年2月)

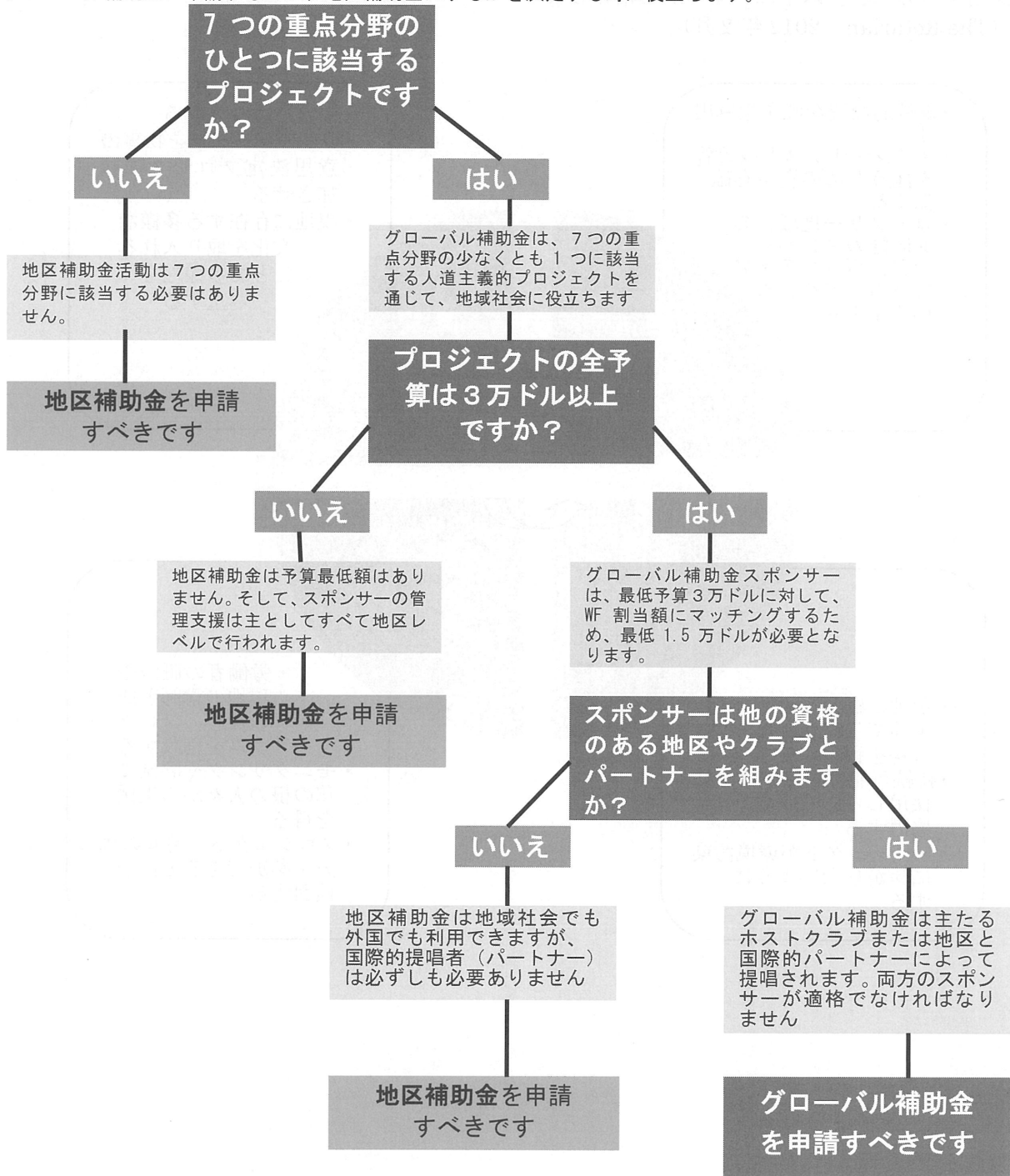


セッション5 資料5

補助金モデルフローチャート

人道的プロジェクトの補助金のタイプを決定する

地区/クラブは人道的プロジェクトに関心があります。次の質問は、ロータリアンのスポンサー（援助提供者）が、グローバル補助金に申請するのか、地区補助金にするかを決定する時に役立ちます。



参考：TRF 研修ワークブック 2013年1月17-19 サンディエゴ CA USA

セッション5 資料6



模範となるグローバル補助金プロジェクト

グローバル補助金は、プロジェクトはどうあるべきかについて、すなわち、ロータリーの重点分野に沿った持続可能な活動である良い例が示されています。そして、グローバル補助金は真のニーズに対応するために、地域社会と協働して計画されるものです。

以下のこれらの注目すべきプロジェクトは、あなたのクラブが、世界でよいことをするために、財団のリソースをいかに上手く利用するかを、実際に説明してくれるものとなっています。

1. ブラジルに新生児集中治療室を設置する

重点分野：母子の健康

提唱クラブ：ブラジル、レジストロ・ロータリークラブ

援助国提唱クラブ：中津川ロータリークラブ、日本

総予算：172,500 ドル

背景：サンパウロ州南部のリベイラバレー地域は、新生児死亡率が他の地域よりも非常に高かった。

範囲：ロータリアンは、病院の地域のレオポルド・ベビラックア博士と協力しました。

Pariquera-Acu が最善のアプローチを決定します。補助金により、病院の新生児 ICU 設備、および妊娠中の未成年のために、出産前ケアと母乳育児のワークショップが提供されました。

影響：この地域の乳児死亡率は、出生 1,000 人あたり 7 人に半減しました。

2. ウガンダでのロータリー家族健康デーの支援

重点分野：母子の健康

提唱クラブ：ウガンダ、キワチュールロータリークラブ

援助国側提唱地区：第 5500 地区 (米国アリゾナ州)

総予算：97,750 ドル

背景：地区補助金によって資金提供されたウガンダのヘルスケアサミットは、農村地域における出生前診断能力の向上と妊婦の栄養学の必要性を明らかにしました。

範囲：コンビネーション(組合せ)グローバル補助金は、ウガンダのロータリー家族の健康の日のための人道支援物資を提供し、健康キャンプにおける医療従事者のための職業訓練を提供しました。

影響：チームは、23 人の看護師、助産師、およびその他の医療従事者に、妊娠やその他の生命を脅かす条件下で、異常を診断するための超音波スキャン装置を使用方法を訓練をしました

楽しい事実：ウガンダの 10 のロータリークラブはそれぞれ地方の医療センターを導入しました。

3. フィリピンで生まれたばかりの新生児のために寄付された母乳を集める

重点分野：母子の健康

提唱クラブ：チャイナタウン・ロータリークラブ-フィリピン、マニラ

援助国提唱クラブ：友部ロータリークラブ、日本

総予算：82,000 ドル

背景：ロータリアンは地域社会のニーズの評価を実施し、マニラの病院に母乳バンクを設立のための基金を提供することを決定しました。

範囲：ジャスティス・ホセアバドサントス総合病院において、施設管理事業者（施設所有者）は、ミルクを収集、スクリーニング処理し、未熟児や病気の赤ちゃんに、そして母親が自分の母乳を提供できない健康な赤ちゃんに、配布します。
また、全国の子然災害の影響を受けている地域の乳児にミルクを供給します。

4. グアテマラで若いコミュニティーリーダーを訓練する

重点分野：平和構築と紛争予防

提唱クラブ：グアテマラ、ヴァッレデグアテマラロータリークラブ

援助国提唱クラブ：米国カリフォルニア州マンハッタンビーチロータリークラブ

総予算：39,873 ドル

背景：グアテマラの貧困地域の過密な学校に通う生徒はいじめと街頭暴力に直面しています。ギャングや麻薬活動に起因する犯罪がよく発生しています。

範囲：プロジェクト提唱者は、攻撃性をそらし、リーダーシップを強化し、意思決定を行い、彼らのコミュニティーに奉仕するための技術についてグアテマラシティ周辺の4つの自治体で学生を訓練するために、グアテマラの犯罪と暴力の防止に焦点を当てた組織である Alianza Joven と協力しました。教師、校長、保護者が関与しました。

影響：6,500人以上の教師と生徒が研修を受けました。

楽しい事実：プロジェクト提唱者は、グアテマラのアンティグアで開催されたプロジェクトフェアに参加しました。

5. イスラエルで平和的な問題解決を教える

重点分野：平和構築と紛争予防

提唱クラブ：イスラエル、ハイファ・ロータリークラブ

援助国提唱クラブ：コーラルスプリングス・ロータリークラブ、米国、フロリダ州パークランド

総予算：161,750 ドル

背景：イスラエルは、水不足と進行中の紛争という課題に直面しています。

範囲：この水プロジェクトには「隠された」平和要素があります。すなわち、水問題へのチャレンジが、ハイファの様々なバックグラウンドを持つ学童が平和的かつ創造的に解決策を見つけるのに役立つ科学カリキュラムの基礎を形成します。

影響：10校の生徒が協力して、水と衛生に焦点を当てた38の科学プロジェクトを発表しました。3つの学校の生徒が参加する1つのプロジェクトが、全国大会で優勝しました。また、それらの学校は15の異文化活動にも参加しました。

6. レバノンの公立学校にきれいな水を届ける

重点分野：水と衛生

提唱クラブ：レバノン、バーブダ・ロータリークラブ

援助国提唱クラブ：米国ノースカロライナ州カーナーズビル・ロータリークラブ

総予算：43,550 ドル

背景：レバノンの地方自治体の水道は、インフラストラクチャーの劣化のために汚染されていることがよくあります。そこで、ほとんどの人は飲料用にボトル入りの水を購入します。多くの公立学校では、さびたタンクで雨水を収集しますが、それは汚染や病気、そして学校の休みにつながります。シリアからの難民の数は、学校をさらに混雑させ、さらに大量のきれいな水の必要性が生じています。

範囲：この補助金で、19の学校に新しい水タンク、パイプ、フィルター、および蛇口を供給されました。さらに衛生研修も提供されました。

影響：現在、6,743人の子供たちがきれいな水を利用でき、プロジェクトが全国に拡大しています。レバノンのロータリアンは、すべての公立学校—合計1,000以上に、きれいな水を届けることを目指しています

7. ペルーの農村コミュニティーに安全な水を提供する

重点分野：水と衛生

提唱クラブ：ペルー、カハマルカ・レイゾン・ロータリークラブ

援助国提唱地区：地区 2201（スペイン）

総予算：258,195 ドル

背景：プロジェクト以前には、住民は未処理の湧き水を飲んだため、特に乳幼児や高齢者の腸や呼吸器の病気が多かった。

範囲：プロジェクトは 32 の貯水池を修理し、飲料水のための重力供給ドリップ塩素消毒システムを設置しました。ロータリアンはまた、住民に管理およびシステムを維持するための訓練を実施しました。

影響：4 歳未満の子供 1,138 人を含む 10,000 人以上が清潔な水を飲んでいました。

楽しい事実：カハマルカ・レイゾン・ロータリークラブには 11 人の会員しかおりませんが、これが最初のグローバル助成金でした。

8. ベナンでの衛生と衛生研修の改善

重点分野：水と衛生

提唱クラブ：ベナン、アボメ・カラヴィ・ロータリークラブ

援助国提唱地区：地区 2080（イタリア）

総予算：158,999 ドル

背景：パウニャン村は、改善されたきれいな水のインフラを必要としていました。

範囲：ロータリアンは新しい井戸と給水塔と 10 個の新しい蛇口を提供し、古い蛇口 7 個を修理し、さらに、パウニャンでの衛生研修を提供しました。

影響：改善されたきれいな水へのアクセスと衛生習慣の改善は 17,000 人に利益をもたらしました。

楽しい事実：この助成金は、試験的な未来に夢計画の一部でした。提唱クラブは、あらゆる研修文書が利用可能になる前に、持続可能なプロジェクトに対する財団の願いを理解し、さらに補助金の衛生要素を作成しました。補助金提唱者はこのプロジェクトを実施している期間、3 カ国語でコミュニケーションを図りました。

9. コロンビアでの基本的な衛生状態を遠隔地の村にもたらし

重点分野：水と衛生

提唱クラブ：コロンビア、カルタヘナ・デ・インディアス・ロータリークラブ

援助国提唱クラブ：米国カリフォルニア州ロサンゼルスロータリークラブ

総予算：38,507 ドル

背景：レティシア村には、衛生施設は存在しませんでした。住民は屋外で用を足さなければならぬ状態に悩んでいました。環境汚染と衛生状態の欠如が原因で、村の人々の間に病気が蔓延していました。

範囲：レティシアのロータリー地域社会共同隊は、トイレ、シャワー、洗面台、浄化槽が含まれたバスルーム— 村の 75 の軒家のうち 25 軒に提供するプロジェクトを提案しました。大学生とロータリアンは、衛生、食品の取り扱い、廃棄物管理について住民の研修を実施しました。

楽しい事実：近くの村が、現地に RCC を組織するようにロータリアンに依頼しました。

最高のヒント：RCC と一緒に活動してください。すなわち、同様のプロジェクトを行ったクラブとの話し合い。大学、地元企業、政府関係者との戦略的提携の形成。地元のロータリー会員を積極的に巻き込む。

10. グアテマラの識字率の向上

重点分野：基本的教育と識字率向上

提唱クラブ：グアテマラ・ビスタ・エルモサ・ロータリークラブ、グアテマラ

支援国提唱クラブ：米国コロラド州サミット郡ロータリークラブ（フリスコ）

総予算：339,191 ドル

背景：グアテマラ識字率向上プロジェクトは、ロータリークラブと地区と教育のための非営利共同組織間の 20 年間のパートナーシップによるものです。

範囲：このグローバル補助金は、教科書、コンピューターラボ、教師のトレーニング、および貧しい学校への奨学金を提供するものです。この持続可能なモデルでは、家族は、寄贈された教科書を借りるために料金を支払う必要があります。そして、学校は、古い本が使い古されたときに新しい本を買うために、そのお金を使います。

影響：この補助金は、5,880人の学生にサービスを提供し、337人の教師を訓練しました。プログラムの1年生は文字認識において、全国平均より71パーセント高いスコアを獲得しました。

楽しい事実：過去20年間、500を超えるロータリークラブがグアテマラ識字率向上プロジェクトに参加しています。

11. パラグアイにおける先住民族の農民に設備を提供する

重点分野：地域社会の経済発展

提唱クラブ：パラグアイ、アスンシオン・ロータリー・クラブ

援助国提唱クラブ：ドイツ、フレンスブ・ロータリー・クラブ

総予算：52,500ドル

背景：首都アスンシオンの北300マイルにある自給自足農業に依存しているエルパラインソ村の先住民。

領域：ロータリアンは、トラクター、プラウ、ハローなどの農業機械を提供し、さらに、村長に職業訓練を提供し、その進捗状況を監視するために村を定期的に訪問します。

影響：プロジェクトの開始から2週間後、村人たちは500エーカーのゴマを植えました。

12. トルコでの乳がんの集団検診

重点分野：疾病予防と治療

提唱クラブ：トルコ、アダナのロータリークラブ

援助国提唱クラブ：米国テキサス州サンアントニオ・ロータリークラブ

総予算：38,000ドル

背景：トルコでは、乳がんが8番目に多い死因となっています。早期検出は効果的な治療の鍵ですが、農村地域の女性はほとんど集団検診にアクセスできなく、乳がんについての教育もほとんどない。

領域範囲：地元の役人と協力して、ロータリアンは医療従事者が、乳がんの影響を説明し、女性がどのように病気の兆候を検出できるかを示すために使用するための乳房モデルを提供しました。トルコ南部の都市、アダナの15地区で、ロータリアンと公衆衛生局は協力して乳房がん啓発イベントを組織しました

13. バングラデシュの田舎における子宮頸がんとの闘い

重点分野：疾病予防と治療

提唱クラブ：バングラデシュのパドラジシャヒ・ロータリークラブ

援助国提唱クラブ：米国ジョージア州ノースコロンバスロータリークラブ

総予算：59,500ドル

背景：バングラデシュは、子宮頸がんによる死亡数で世界第4位にランクされています。予防と早期発見は、より高い生存率につながる可能性があります。

範囲：プロジェクト提唱者は、Rajshahi ガン病院と研究センターと協力して、予防接種を通じて子宮頸がんの発生率を減らします。また、彼らは、ラジシャヒ周辺の10の村で、症状についての認識を向上するために活動し、さらに女性救急医療のための基金提供を行った。

影響：9歳から45歳までの1,000人近くの少女と女性がこのプログラムに参加しました。

楽しい事実：プログラムへの反応は予想よりも強く現れました。ロータリアンは、さらに多くの村を将来のプロジェクトに含めることを計画しています。

14. インドの道路でがん検診を実施する

重点分野：疾病予防と治療

提唱クラブ：インド、マドラスイーストロータリークラブ

援助国提唱クラブ：米国テキサス州サンアントニオ・ロータリークラブ

総予算：70,242 ドル

背景：インドでは毎年 80 万人以上の新しい癌の症例があります。多くの人々、特に農村地域では、がんの集団検診を認識していないか、余裕がないか、または恐れています。

乳がんと子宮頸がんの診断が遅れると、高い死亡率に繋がります。

領域範囲：ロータリアンは、自分たちの地域で重大な公衆衛生上の問題を特定し、その後、一緒に活動する強力な協力組織を探し出しました。

農村地域の女性を対象に検診を行うための特別な車の設計を支援しました。また、移動装置が出来るだけ多くの女性に行き渡るよう、彼らのネットワークを動員しました。

影響：プロジェクトを通じて、3,650 人の女性が集団検診を受診しました。

最高のヒント：あなたのクラブが、焦点を当てようと計画している事業に対して、すでに経験がある組織と協力して実施する。

15. ニューヨーク州に専門医療センターを設置

重点分野：疾病予防と治療

提唱クラブ：バートンヒルズボールドストーンレイクロータリークラブ ニューヨーク州

援助国提唱クラブ：ザンビア、ルアンシュヤ・ロータリークラブ

総予算：34,650 ドル

背景：口唇口蓋裂を治療するための包括的な医療サービスが必要な子どもたちは、ボストンやニューヨークまで数百マイルを旅行しなければならない。

範囲：補助金は、1,500 万人の地域にサービスを提供しているアルバニー医療センターの医師と家族に、特殊機器、必需品、教育資料を提供するものです。

楽しい事実：これは、ニューヨークのクラブと地区が提唱する最初のグローバル補助金で、その受益者は米国にいました。

16. VTT によるネパールの医療サービスの改善

重点分野：疾病予防と治療

提唱クラブ：ネパール、パタンウエストロータリークラブ

援助国提唱クラブ：尼崎西ロータリークラブ、日本

総予算：33,781 ドル

背景：2680 地区（兵庫県）のロータリアンが、1998 年に設立されたネパールのバクタプルにある岩村記念病院を支援しました。毎月、病院は 225 人の救急医療の患者を治療し、1,300 人の外来患者を治療します。ロータリアンはサービスの質を向上させるための必要性を予見しました。

範囲：兵庫県岡本病院で救急医療と透析治療の研修を受けた管理者と病院の 3 人の看護師からなる職業訓練チーム。

影響：訓練チームのメンバーは、日本の病院がどのように患者を受け入れ、治療するかを観察し、感染管理と安全手順のベストプラクティスを学び、透析治療およびその他の高度な医療機器の取扱と使用に関するスキルを取得しました。

17. スマートフォンでモンゴルの医療格差を埋める

重点分野：疾病予防と治療

提唱クラブ：モンゴル、クレーロータリークラブ

援助国提唱クラブ：韓国天安島ロータリークラブ

総予算：50,000 ドル

背景：モンゴルの 300 以上の村は非常に遠隔地にあるため、高度な医療サービスへのアクセスは限られています。

範囲：55 の村の医師がスマートフォンの支給と遠隔映像診断のトレーニングを受けました。

楽しい事実：アプリはモンゴルで開発されました。

18. ベネズエラでの蚊帳によるマラリアとの戦い

重点分野：疾病予防と治療

提唱クラブ：ベネズエラ、プエルトオルダスロータリークラブ

援助国提唱クラブ：米国フロリダ州 キービスケーンロータリークラブ

総予算：77,500 ドル

背景：ベネズエラはマラリアの流行に直面しており、東部の都市シフォンテスはその発生地です。以前のマッチンググラントプロジェクトを通じて、ロータリアンはすでに地域住民と関係を持っていました。

範囲：プロジェクトは、6,000 の殺虫剤処理蚊帳を Sifontes 付近の先住民コミュニティに配布し、それらの使用方法についての説明を提供しました。

ローターアクターと先住民代表者を含む地元の若者は、個別のフォローアップ家庭訪問の実施方法に関するトレーニングを受けました。

影響：新しいマラリアの症例は 60~80% 減少しました。提唱者はベネズエラでのこの成功を足場とすることを望んでおり、ペルーで同様のプロジェクトに取り組んでいます。

楽しい事実：このプロジェクトは、先住民コミュニティで人々が使用してきた伝統的なハンモックに縫い付けるように設計されたカスタムメイドの蚊帳を提供しています。

19. メキシコの農村医療の動員

重点分野：疾病予防と治療

提唱クラブ：メキシコ、サンニコラスデロスガルザロータリークラブ

支援国提唱クラブ：米国テキサス州 オースティンロータリークラブ

総予算：50,000 ドル

背景：孤立した農村コミュニティは、医療が受けられません。

範囲：ロータリアンは、一連のグローバル補助金を通じて、医療用のモバイルヘルスユニットおよび、パートナー組織である CaritasdeMonterrey が配置された車両への歯科用品を寄付してきました。

影響：現在、5,000 人以上が医療を受けることができます。

楽しい事実：サンニコラスデロスガルザとオースティンのロータリークラブは、9 年間、ツインクラブを締結しています。

20. インドネシアでの Dengue 熱との闘い

重点分野：疾病予防と治療

提唱クラブ：インドネシア、ソロカルティニロータリークラブ

支援国提唱クラブ：米国コネチカット州ウェストポートロータリークラブ

総予算：70,725 ドル

背景：世界保健機関によると、Dengue 熱は最も急速に蔓延している熱帯病であり、パンデミックの脅威です。推定症例の 70% はアジアで起こっています。

範囲：プロジェクトは、スラカルタの一部で、一般的な繁殖地を排除することにより、Dengue 熱を運ぶ蚊のライフサイクルを中断することを目的としています。

提唱者は、インドネシアの家で一般的なセメントの浴槽に、白いセラミックタイルを張りしました。それによって、蚊の幼虫がより目立ち、幼虫をチェックして、浴槽を空にして、こすり洗いし、侵入を防ぐために浴槽を覆うように住民を訓練しました。地域のソーシャルワーカーが毎週フォローアップしました。

影響：ロータリアンは 3,500 個の浴槽にタイル張りをしました。政府は今、そのプロジェクトを支援しようとしています。

楽しい事実：このプロジェクトは、ロータリー財団の新しい補助金制度の下で承認された最初の補助金を含めて、3 つのグローバル補助金によって支援されています。

提唱クラブの会員は全員女性会員です。

セッション5 資料7: ロータリー財団7つの重点分野

私たちは地域社会や世界で最も大きな影響を与えるために目標となる特別な根拠を確認しました。同時に、私たちは、それぞれの地域社会が独自のニーズや懸案事項を持っていることも理解しました。グローバル補助金や他のリソースを通じて、私たちは各クラブが下記の分野における奉仕活動に焦点を当てる事を支援します。

平和の促進

今日、6500万人の人々が、武力紛争または迫害によって現在故郷を追われています。いくつかの優れた大学との関係により、ロータリー平和フェローは技能を磨き、平和への努力を強化し、紛争を予防し仲裁するために地域のリーダーを研修し、紛争によって影響を受けた地域での長期間の平和構築を支援します。私たちはロータリー平和センターに毎年、最高100人までの平和フェローシップ（奨学金）を授与しています。

疾病との戦い

毎年1億人以上の人々は、医療費のために貧困に追いやられています。私たちは、開発途上国における低コストで無料の医療に向けて改善、拡充することを志しています。私たちの会員はポリオ、エイズ、マラリアなどの主要疾患の拡大を防止するために、地元社会の人々を教育し、動員しています。私たちの多くのプロジェクトは、医療研修整備を、労働者が生活している場所に必ず設置するようにしています。

きれいな水の提供

25億人以上の人々は適切な衛生設備を利用することができません。少なくとも毎日3000人の子供が安全でない水による下痢性疾患で亡くなっています。私たちのプロジェクトは、持続可能な水と衛生システムを開発・維持する能力を地域社会に与え、そして水と衛生に関する研究を支援することです。

母子の健康

少なくとも700万人の5歳以下の子供が毎年、栄養不良、貧しい医療、および不適切な衛生で亡くなっています。この数値を下げるために、私たちは赤ちゃんに対する予防接種や抗生物質を提供し、基礎的医療サービス状況を改善し、母子のために研修を受けた医療供給者を支援しています。私たちのプロジェクトは、地域社会に医療研修プログラムを自分のものにする権限を与えることで、持続可能性を補償することです。

教育支援

世界で67百万の子供達は教育を受けていません。そして15歳以上の7億7500万人以上の人たちは読み書きが出来ません。私たちの目標は、基礎的教育と識字率向上を支援し、教育における性的な不平等を低下させ、大人の識字率を高めるために、地域社会の能力を高めることです。

地域経済の発展

約14億人の労働者は一日1.25ドル以下で暮らしています。私たちは経済と地域社会の発展を促進し、若い人も年老いた人も、きちんとした、生産的な仕事に就ける機会を開発するプロジェクトを実施しています。私たちはまた、発展途上国において地域の起業家や地域のリーダー、特に女性を支援しています。

環境の保護

新しい奉仕分野は、万人の利益のために、気候変動や大陸や海洋における持続可能な資源利用を含めて、私たちの住む世界への挑戦に対応しています。

6 強いクラブを創る

私のロータリーの旅を進めるに従い、私はロータリーの約束を実現することに手を貸すことができます。



セッションの目標：

- 時代によって変わる社会のロータリーに対する期待を検討する
- 結果的に、期待に応えられたもの、応えられなかったものを考察する
- 社会に対するロータリーの約束(promise)※を果たすために、どのような手助けができるかを考える

※：ロータリーの約束 (promise)

ロータリーは、ポリオの根絶や平和の実現という大きな夢を持っており、これを実現することを広く社会に約束しています。また、RIの使命の達成、TRFの使命の達成についても社会に宣言し、達成して行く事を約束しています。

セッションの問い

- 1) ロータリーは社会からどのような期待をされていると思いますか。
- 2) クラブ会員は、ロータリーにどのような期待をしていると思いますか。
- 3) あなたのクラブは五大奉仕を通じてこれらの期待に対してどのように対応するか、考えてみてください。これを実行するに当たりあなたの役割は何ですか？ (資料1：P85)
- 4) 「ロータリーの約束」といった場合、それは何を意味しますか？議論してください。
- 5) この議論を踏まえて、あなたはあなたのクラブをどのようにしてより強くすることができますか？
『クラブの健康チェック』(資料2：P86)でクラブの現状を確認してみましょう。

セッション6 資料1：ロータリーの指導原則

ロータリーの基本理念は、ロータリアン共通の目的や指針として、長い年月をかけて形づくられたものです。互いの関係や行動の土台として、世界中のロータリアンがこれらの理念を大切にしています。

ロータリーの目的 (OBJECT OF ROTARY)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること (RI 定款第4条、標準ロータリークラブ定款第5条)。

四つのテスト (The Four-Way Test)

ロータリアンが生活や仕事の場面で常に覚えておくべき4つの問い、それが「四つのテスト」です。政治や宗教に関係なく、すべての人びとの倫理的指針となるこのテストは、100カ国語以上に翻訳されています。

四つのテスト (THE FOUR-WAY TEST)

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

四つのテストは、1932年にロータリアンのハーバート J. テイラー（後の国際ロータリー会長）により考案された（ロータリー章典 33.070.）*。

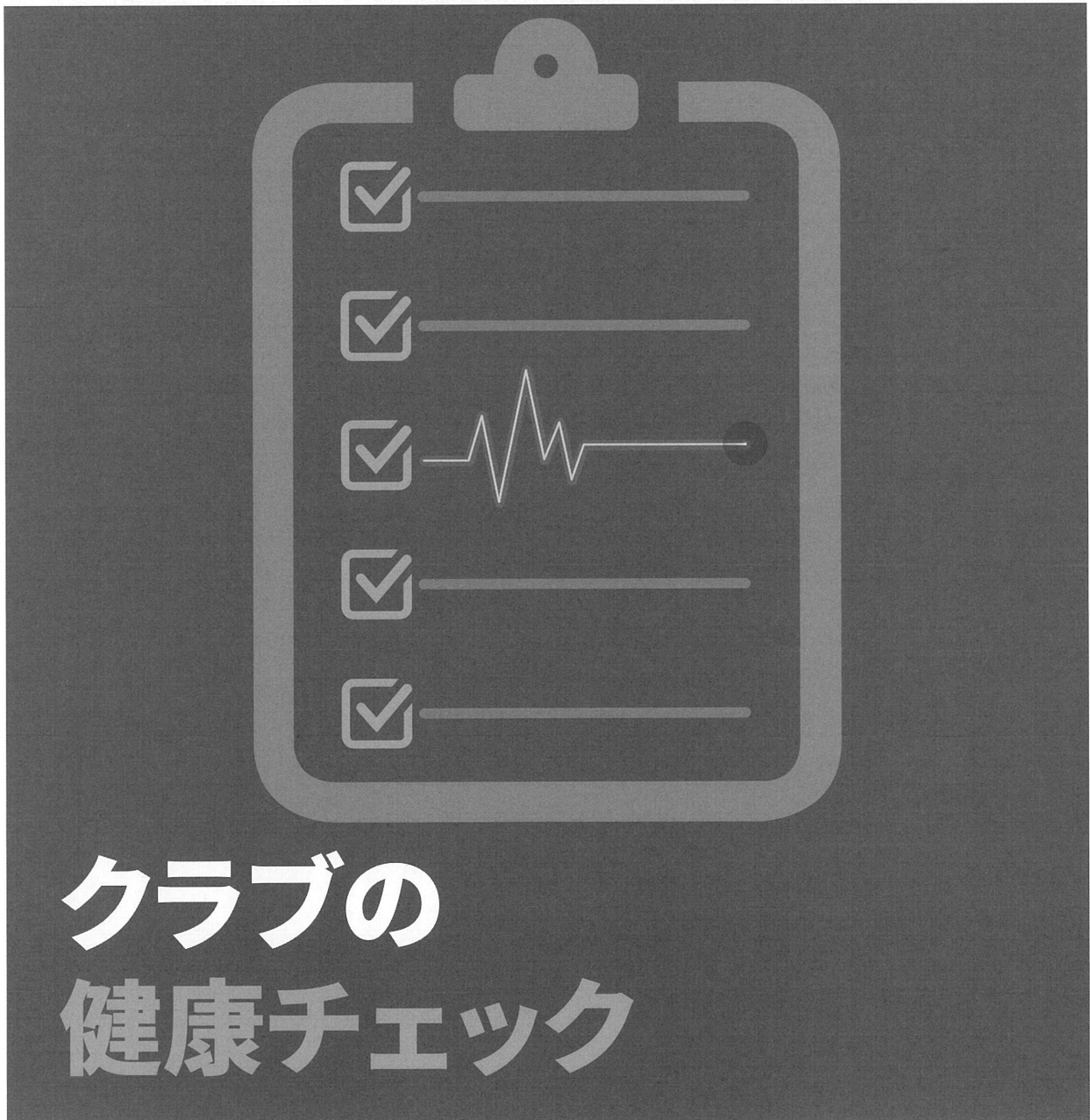
五大奉仕部門 (Avenues of Service)

私たちは、クラブ活動の土台となる5つの奉仕部門を通じて、地域社会や海外での奉仕に力を注いでいます。

- ・**クラブ奉仕**は、会員同士の関係をはぐくみ、積極的な会員増強計画を実行して、活気あるクラブづくりを行うことです。
- ・**職業奉仕**は、すべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てることです。詳しくは、「職業奉仕の手引き」と「行動規範」をご参照ください。
- ・**社会奉仕**は、すべてのロータリアンが、地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。詳しくは、「活動する地域社会：効果的なプロジェクトのための指針」を参照ください。
- ・**国際奉仕**は、国際的なプロジェクトで資金を提供したり、ボランティアをしたり、海外のパートナーとの協同活動を通じて、平和と相互理解を推進することです。
- ・**青少年奉仕**は、ローターアクト、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。

セッション6 資料2

健康診断 クラブの健康チェック 自己診断



健康を維持し、病気を予防するには、定期的な健康診断が欠かせません。これと同じように、クラブを定期的に診断して問題点を見つけ、その対処法を探ることが大切です。この資料は、クラブリーダーがクラブの現状を把握し、会員と地域社会にとってクラブが価値ある存在であり続けるために何ができるかを考えることを目的としています。まずは過去12カ月間を振り返り、あなたのクラブに当てはまる項目に印をつけてクラブの健康度をチェックした上で、その結果をクラブ役員と話し合しましょう。印がつかない項目が四つ以上あるセクションは、重点的に取り組む必要があるかもしれません。問題のある分野を見つけたら、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう。

☑ 診断



期待通りの体験ができないと感じている会員は、クラブへの不満が原因で退会してしまうリスクがあります。健康チェックで印がつかなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
例会	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 新しいことを例会に取り入れる。 ⊕ 直接対面式で例会ができないときにオンライン例会を開く。または、希望する会員や会場に來られない会員がバーチャル形式で出席することを認める。 ⊕ デジタルの分野が得意なクラブ/地区の会員を見つけ、オンライン例会を運営/援助してもらう。 ⊕ 国際ロータリー事務局のクラブ・地区支援担当職員に連絡してアイデアを得る。
クラブを超えたロータリーでの体験	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ ほかのローターアクトクラブまたはロータリークラブのスポンサーとなる。 ⊕ インターアクトクラブを設立するか、インターアクトクラブと一緒に活動する。 ⊕ ロータリーの各種プログラムを会員に紹介し、参加を奨励する。RYLAを実施/奨学金を提供/青少年交換に参加する。 ⊕ ロータリー友情交換やロータリー行動グループへの参加を呼びかける。 ⊕ 全会員が参加できる地区行事への出席を奨励する。参加経験者に体験談や参加のメリットを話してもらう。 ⊕ 地元や海外のロータリーとローターアクトの活動（ポリオ根絶を含む）を紹介する。 ⊕ 地元のトーストマスターズクラブと協力して、会員がリーダーシップとコミュニケーションのスキルを磨く機会を提供する。 ⊕ ほかのクラブを訪問して新しい人と出会い、自分のクラブで実施できる活動のアイデアを得る。
期待に沿わない体験	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 会員満足度調査を活用して、会員が例会に何を望むかを調べ、期待通りの体験ができるように改善する。 ⊕ リーダーシップスキルを高めるために、トーストマスターズ・インターナショナルが開発したオンラインコースの利用を会員に勧める。

奉仕と親睦



ロータリーに入会する理由、および会員であり続ける主な理由は、「地域への奉仕」と「仲間との親睦」です。会員がさまざまな方法でクラブに参加できるよう、バラエティーに富んだ親睦行事や奉仕活動を企画し、楽しく、意義ある形で地域に貢献できるようにしましょう。

- 親睦や交流を目的とした集まり（例会以外）を定期的に行っている。
- 家族や友人同伴で例会や行事に出席することを奨励している。
- 会員がリーダーシップを発揮する機会や、職業的に成長できる機会がある。
- ロータリーファミリーのメンバー（インターアクター、ロータリー青少年交換学生、ロータリー平和フェローなど）を例会や行事に招いている。
- ローターアクトまたはインターアクトクラブをスポンサーしている／青少年交換学生または新世代交換に参加している／RYLA行事を実施している。
- 協力団体や支援者、学友と直接連絡を取り合っている。
- 実施するプロジェクトを決める前に、地域社会のニーズについて地元リーダーや市民の声を聞くようにしている。
- 新しいプロジェクトを選ぶ前に、My ROTARYのフォーラムを参照したり、プロジェクトフェアに参加したり、財団専門家グループや協力団体に相談したりしてアイデアを得ている。
- 奉仕プロジェクトが進行中である。
- 奉仕活動や親睦活動について会員が要望や意見を述べる機会を設けている。
- ロータリーの重点分野に沿った奉仕プロジェクトを実施している。
- 奉仕プロジェクトのためにロータリーの補助金を申請／活用した。
- 毎年少なくとも一人の会員がロータリー財団補助金管理セミナーに出席している。
- ロータリー財団に寄付している。
- ロータリー財団委員長と奉仕プロジェクト委員長がいる。

コメント欄

 診断



人びととつながりながら奉仕活動ができることは、ロータリーの大きな魅力の一つです。親睦と奉仕活動に参加できる機会が少なければ、退会につながるリスクがあります。健康チェックで印がつかなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
奉仕の機会	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ <u>インターアクトクラブをスポンサー／RYLAを実施／奨学金を提供／青少年交換に参加／ロータリー行動グループに参加／ロータリー平和センターを支援する。</u> ⊕ <u>ロータリーの新世代交換プログラム</u>を会員に紹介する。
プロジェクトの質	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 「<u>地域調査の方法</u>」と「<u>グローバル補助金ガイド</u>」を参照して、プロジェクトの質を高める。 ⊕ 奉仕プロジェクトについて<u>財団専門家グループ</u>のメンバーに相談する。 ⊕ <u>クラブが実施した奉仕プロジェクトの評価を行い</u>、今後もそのプロジェクトを続けていくかどうかを判断する。
親睦	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 親睦を目的とした行事を担当する会員を1～2名決める。 ⊕ <u>ロータリー親睦活動グループ</u>に参加する。 ⊕ 異なる時間帯や形式のさまざまな行事を見つける、または実施する。
リーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 会員がリーダーシップスキルを磨き、発揮できるようにする。ラーニングセンターのコースカタログにある<u>専門能力開発</u>のコースを会員に紹介する。 ⊕ 新会員や若い会員にリーダー職に任命する。

会員増強



健康的なクラブは、変化しながら成長します。会員の多様な考え方や経験は、革新を促し、地域のニーズを見極める上で欠かせないものです。ロータリーが実施した調査によると、よくある退会理由の一つとして「リーダーが新しいアイデアに耳を傾けてくれない」というものがあります。会員の意欲を高めるには、クラブに対して会員がどう感じているのかに注意し、方針や方向性を定める際に会員の声を取り入れることが重要です。ロータリークラブ・セントラルで、クラブの会員増強の傾向と最新の統計を見てみましょう。

- 過去1年間に会員が純増した。
- 過去1年間に多様な会員（女性会員、若い世代の会員など）が純増した。
- 民族や人種という点で地域社会の多様性を反映している。
- まだ会員がいない職業分類での入会促進に力を注いでいる。
- 新会員の入会式とオリエンテーションを実施し、情報資料や参加の機会を提供している。
- ロータリー学友（元ローターアクター、元青少年交換学生、元平和フェロー、ほかのプログラムの元参加者）のかかわりを積極的に促している。
- 各会員の貢献への感謝やねぎらいを示している。
- 毎年、少なくとも90%の会員を維持している。
- 会員の少なくとも75%が、奉仕プロジェクトに直接参加したり、リーダー的役割、そのほかのクラブの役割にかかわっている。
- クラブに紹介された入会候補者情報を確認し、候補者に連絡する担当者を決めている。
- 新会員と既存会員の両方に対し、会員であることの恩典を説明している。
- 先輩会員が新会員とペアになって助言や指導を行う仕組み（メンタリング）を取り入れている。
- 職業や関心事について会員が例会で卓話をする機会を設けている。
- クラブ会員増強委員会があり、入会と会員の参加促進に取り組んでいる。
- 会員をもった地区行事やロータリー関連セミナーに会員が出席している。

コメント欄

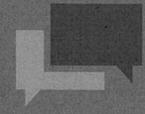
 診断



多様性を欠くクラブは、時代に沿わない退屈な場所となり、会員や地域社会にとって価値が少ない存在となる危険性があります。ロータリーは、会員基盤の成長に役立つさまざまなツールや資料を提供しています。健康チェックで印がつかなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
会員の多様性	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ <u>会員の多様性調査</u>を活用して、多様な会員の入会を促進する。 ⊕ <u>多様性・公平さ・インクルージョン (DEI) へのロータリーのコミットメント</u>と取り組みについて学ぶ。
職業の多様性	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ <u>専門能力開発</u>のための各種コースを推奨することで、会員のスキルアップを図る。
会員数の停滞や減少	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 会員増強計画を立てる。 ⊕ <u>入会候補者を見つけ、候補者情報を管理する方法</u>を学ぶ。 ⊕ <u>入会候補者情報ワークシート</u>を使って入会候補者の情報を集める。 ⊕ 新会員を推薦する方法を会員に説明する。また、ほかのクラブに入会者を紹介できることを説明する。 ⊕ 例会以外にもロータリーに参加できる数多くの方法があることを伝える。
会員の退会	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ <u>会員満足度調査</u>を実施して、クラブに対する会員の満足度を測る。 ⊕ <u>会員維持調査</u>を実施して、退会の傾向や関心維持の方法を探る。 ⊕ <u>退会者アンケート</u>を活用して退会理由を理解し、改善に取り組む。 ⊕ 退会する会員に対し、<u>再入会や移籍</u>の選択肢があること、また退会後も連絡を取り続けることができることを伝える。 ⊕ 二重会員となることを検討するようローターアクターに奨励する。
オリエンテーションとロータリーの知識	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ <u>新会員のためのオリエンテーションと専門能力開発</u>の機会を提供し、ロータリーのラーニングセンターの活用を勧める。

公共イメージ



楽しみながら地域に貢献しているクラブは、会員が活発になるだけでなく、入会候補者の目にも魅力的に映ります。地域社会や入会候補者との関係を築く上で、クラブのイメージはとても重要です。奉仕活動を実施する際にはクラブへの認知度アップを意識し、クラブが地域に根ざしてニーズに取り組んでいることをアピールしましょう。

- 魅力的なデザインのウェブサイトをつくり、クラブの活動や入会のメリットなど公共向けの情報を発信している。
- クラブのソーシャルメディアアカウントがあり、クラブの活動とそのインパクトを紹介している。
- クラブのソーシャルメディアアカウントは、幅広い人にリーチしている。
- 昨年、地元メディアで数回にわたりクラブが取り上げられた。
- 地元メディアを通じてクラブやロータリーを紹介している（テレビ、ラジオ、広告など）。
- 奉仕活動にメディア関係者を招き、報道してもらっている。
- クラブで使用している資料は、ロータリーのブランドガイドラインに沿っている。
- 行動人としての会員の姿を示すために、ロータリーのブランドリソースセンターにある素材やテンプレートを活用している。
- 国際ロータリーから提供される広報用素材（公共奉仕広告、動画、写真、ロゴなど）を活用している。
- 例会場、奉仕プロジェクト、イベント会場にロータリー／ローターアクトの標識やクラブのバナーを掲げている。
- 地域社会でクラブの存在が知られている。
- クラブが地域社会にもたらしているインパクトを紹介したパンフレットを作り、地元の人びとや入会候補者に渡している。
- マーケティングや広報の専門知識をもった会員がいる。
- 例会や活動に参加したゲストや市民に好ましい体験をしてもらうことで、ロータリーの公共イメージを向上させている。
- クラブ公共イメージ委員会があり、イメージ向上と広報に取り組んでいる。

コメント欄

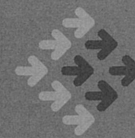
☑ 診断



地元での認知度が高ければ高いほど、奉仕活動の効果が高まり、活動に対する人びとの反応も好ましいものとなります。ロータリーのさまざまなリソースをクラブの公共イメージ向上に役立てましょう。健康チェックで印がつかなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
地域での認知度	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ <u>ロータリーのプレスセンター</u>にあるリソースを地元メディアに紹介する。 ⊕ 認知度アップにつながるようなイベントを企画する（ロータリーの<u>ブランドリソースセンター</u>にある「イベント計画ガイド」を参照）。
古くなった資料	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ ロータリーのブランドリソースセンターから利用可能なテンプレートを使い、クラブのパンフレットをつくる。 ⊕ 「<u>ボイス</u>」と<u>ビジュアルアイデンティティのガイド</u>に沿って資料を作成する。 ⊕ 資料やコミュニケーションを作成する際に、ロータリーの動画や独自の写真を活用する。
オンライン上の存在感	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ オンラインツールに強い会員を見つけ、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアを管理してもらう。 ⊕ ラーニングセンターで「<u>ロータリーブランド</u>」のコースを利用する。 ⊕ ロータリーの動画や独自の写真・動画を活用する。 ⊕ ロータリーのソーシャルメディアキットを活用して、オンラインでのクラブの存在感を強める。
マーケティング・広報	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 「<u>クラブ公共イメージ委員会の基本</u>」からアイデアを得る。広報の経験がある会員を広報委員会に任命する。 ⊕ <u>入会候補者情報ワークシート</u>を活用して、広報やマーケティング分野の新会員を募る。 ⊕ <u>ブランドリソースセンター</u>にある<u>ソーシャルメディアキット</u>を利用して、クラブのソーシャルメディアを効果的に活用する。

運営



クラブの未来についてリーダーが真剣に考えているクラブは、円滑に運営され、成長していくものです。元気なクラブづくりにおいては、リーダーの育成、戦略計画の立案、引継ぎ計画が極めて重要となります。

- 戦略計画があり、定期的に更新している。
- 年次目標を定め、これをロータリークラブ・セントラルに入力している。
- ロータリー賞の受賞に向けて努力し、頻繁にロータリー賞を受賞している。
- クラブ理事会が少なくとも四半期に一度会合し、クラブ戦略計画の見直しや、目標に向けた進捗の確認、(必要に応じて) 細則その他の資料の調整を行っている。
- 理事会は、改善すべき点には随時変更を取り入れ、これに基づいてクラブ細則を更新している。
- 将来のリーダーを見つけ、育成するプロセスを確立している。これには、各役職に就くための研修、文書や記録の引き継ぎ、現・元・次期役員による合同決定などが含まれる。
- 会長がPETSに出席し、そのほかの役員やリーダーも地区研修・協議会に出席している。
- クラブのリーダーはMy ROTARYを活用してロータリーの手続きを行っている。
- 12月31日までに次期役員を選び、2月1日までに国際ロータリーに報告している。
- 幹事は、新会員の入会后30日以内にこれを報告している。
- 次年度予算の作成と承認を行い、会計を任命し、運営と寄付(または奉仕プロジェクトの資金)のための口座をそれぞれ別個に設けている。
- 募金目標を定め、さまざまな募金活動を通じてこの目標を達成している。
- 毎年、会員満足度調査への記入を会員にお願いし、その結果をクラブに反映させている。
- 会員の半数以上がMy ROTARYにアカウント登録している。
- クラブ管理運営委員会がある。

コメント欄

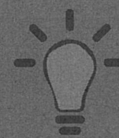


☑ 診断

リーダーのスキルや熱意が足りない、または会員のニーズが考慮されないクラブでは、会員の意欲や活動の効果が薄れ、時代遅れとなり、会員の減少を招くこととなります。健康チェックで印がつかなかった項目を確認し、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう：

問題のある分野	処方箋
戦略計画と目標設定	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 「<u>戦略計画ガイド</u>」を活用して、クラブのビジョンを描き、長期目標と年次目標を立てる。 ⊕ <u>ロータリークラブ・セントラル</u>で設定した目標の半分以上を達成して<u>ロータリー賞</u>の受賞を目指す。 ⊕ ローターアクトクラブは<u>ロータリー賞の目標と達成のワークシート</u>を活用する。 ⊕ クラブ理事会だけでなく、クラブ全体にとって意義のある目標を選ぶ。 ⊕ <u>会員増強ガイド</u>を活用して、会員増強計画を立てる。
革新性	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 新しい会員種類（家族会員など）を導入した場合は、これを反映させるためにクラブ細則を修正する。 ⊕ 「<u>クラブの種類・形式・モデル</u>」の資料を参照し、会員に提供できる体験について検討する。
手続き	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ <u>新会員の入会とオリエンテーション</u>、紹介された<u>入会候補者</u>への連絡、新会員の推薦、リーダーシップの引継ぎなど、諸々の標準手続きを定める。 ⊕ <u>会員満足度アンケート</u>を活用する。
リーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ オンラインのラーニングセンターで<u>クラブリーダー向けの学習プラン</u>を利用し、アイデアや情報を得る。 ⊕ リーダーシップ研修を実施し、ラーニングセンターの<u>専門能力開発のための各種コース</u>利用を奨励する。
資金管理	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ 「<u>クラブロータリー財団委員会の基本</u>」のオンラインコースを利用し、寄付の選択肢について学ぶ。 ⊕ 「<u>クラブ会計の基本</u>」でベストプラクティスを学ぶ。
My ROTARYでのクラブ管理	<ul style="list-style-type: none"> ⊕ My ROTARYの「<u>クラブの運営</u>」のセクションから各種レポートを見たり、会員情報の追加・更新・削除を行ったり、入会候補者の情報を管理したりする。（留意点：ローターアクトの場合、My ROTARYの「クラブの運営」ページを利用できるのはクラブ会長のみとなります。）

次のステップ



「クラブの健康チェック」は、元気なクラブづくりの第一歩です。印が最も多くついた分野、最も少なかった分野を確認し、これを基にクラブの健康診断をして、対処方法を検討しましょう。病院では、健康診断で医師がアドバイスをし、問題があれば薬を処方してくれます。このアドバイスを無視したり、処方薬を飲まなかったりすれば、せっかくの健康診断も意味がありません。これと同じように、診断結果を真剣に受け止め、対処方法を考えて、問題のある分野に早めに取り組みましょう。

ポール・ハリスは次のように述べました：「願わくは、私たちの幸せがさらなる奉仕をもたらすように」。地域社会とそのニーズは時代とともに変化し、ロータリークラブが地域に貢献し続けるには、この変化に対応する必要があります。クラブの健康を定期的にチェックし、常に新鮮な気持ちで元気なクラブづくりを心がけましょう。

次のステップ

1. 各セクションのスコアを以下に記録してください。印のついた一項目につき、1ポイントとなります。

カテゴリー	スコア
クラブでの経験	
奉仕と交流	
会員増強	
公共イメージ	
運営	

2. 最もスコアの低かったカテゴリーをご覧ください。「処方箋」に提案されている対処方法を、どのように実行できるでしょうか。次のステップを以下に記入してください。

実行項目	実行スケジュール	責任者

役立つリソース

[クラブ計画アシスタンス](#)

[会員増強のための評価ツール](#)

[会員増強のリソース](#)

[ブランドリソースセンター](#)

[ラーニングセンター](#)



2540-JA-(921)